

# 令和5年度病床機能報告結果（圏域別）

東京都保健医療局医療政策部

# 目次

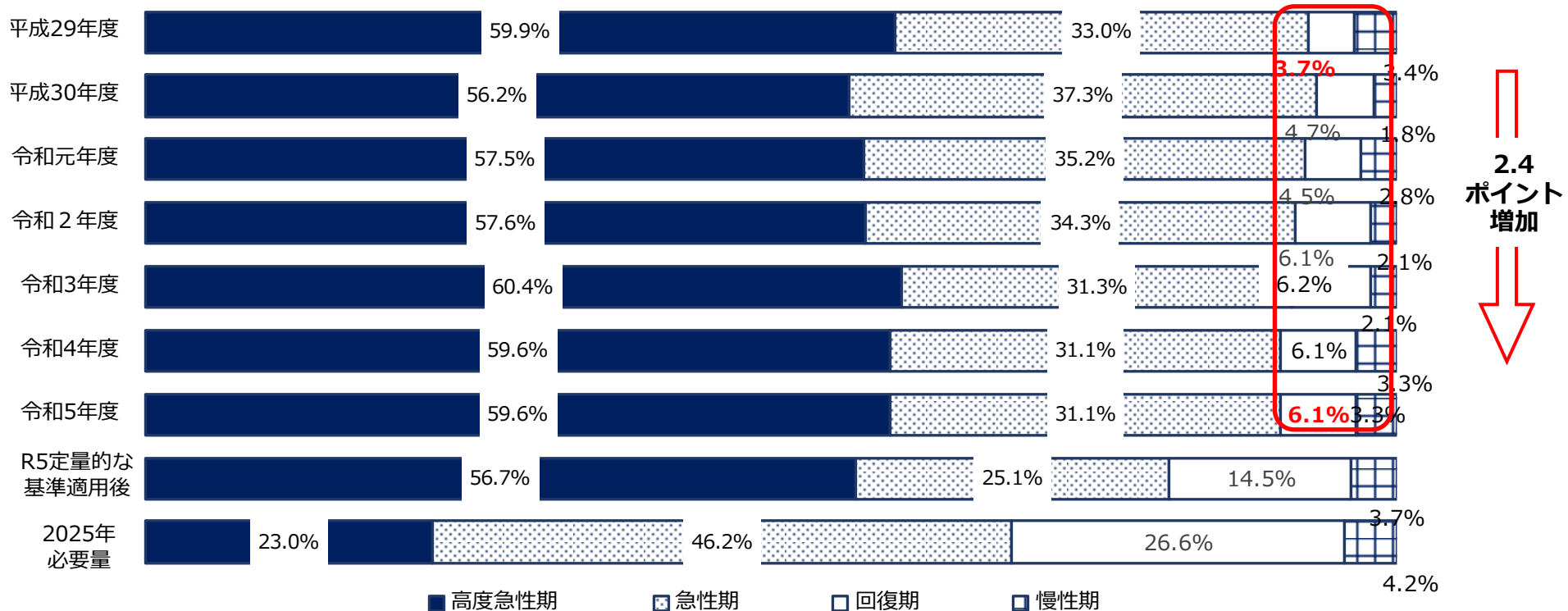
---

区中央部	2
区南部	5
区西南部	8
区西部	11
区西北部	14
区東北部	17
区東部	20
西多摩	23
南多摩	26
北多摩西部	29
北多摩南部	32
北多摩北部	35

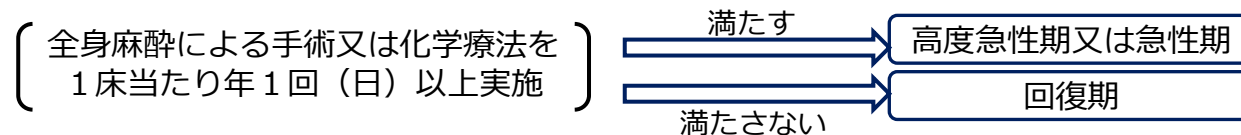
# 【区中央部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 2.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

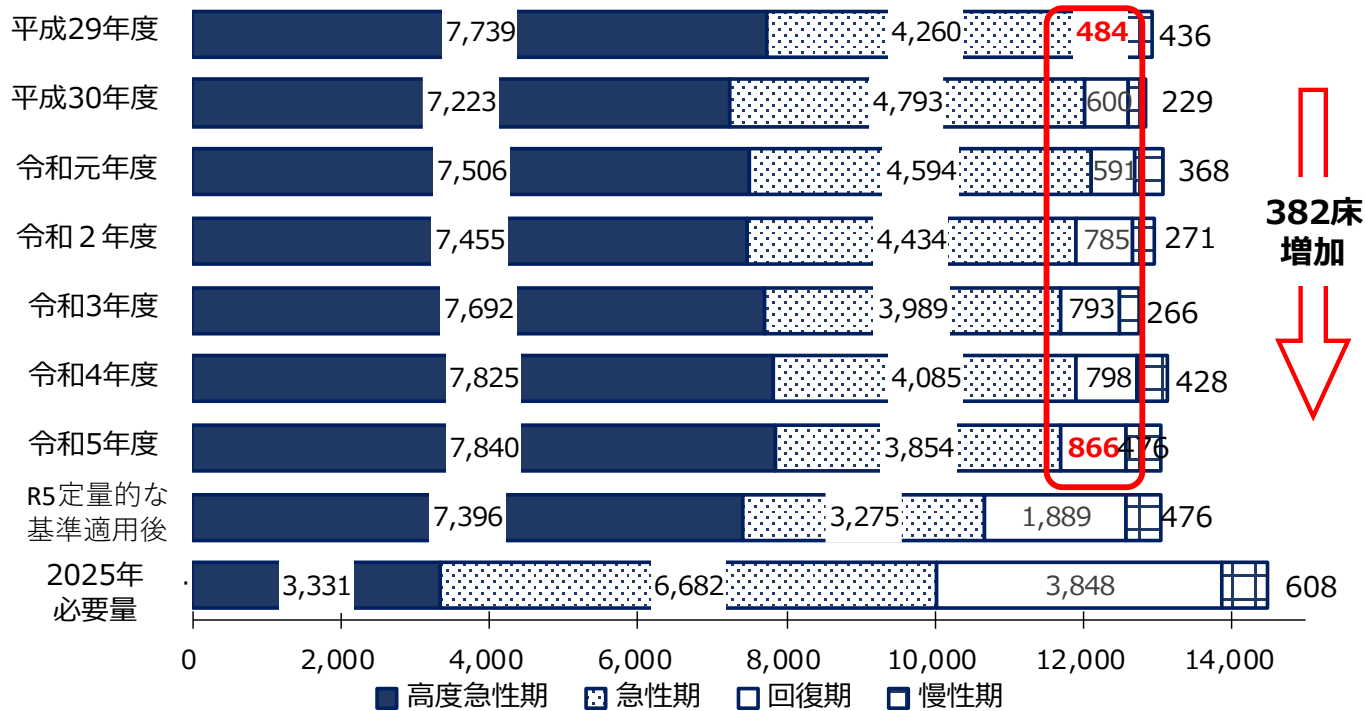


（出所）病床機能報告より作成

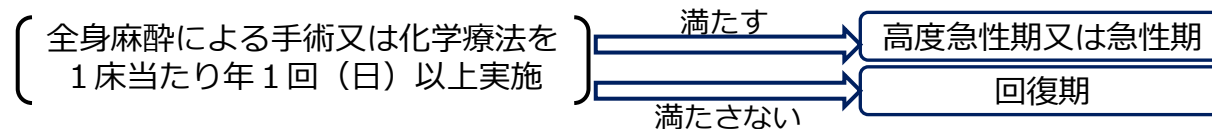
## 【区中央部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 382床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



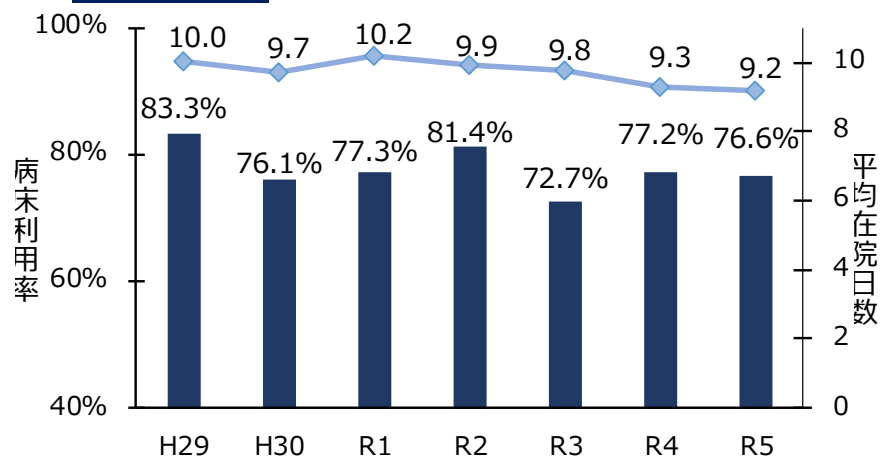
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



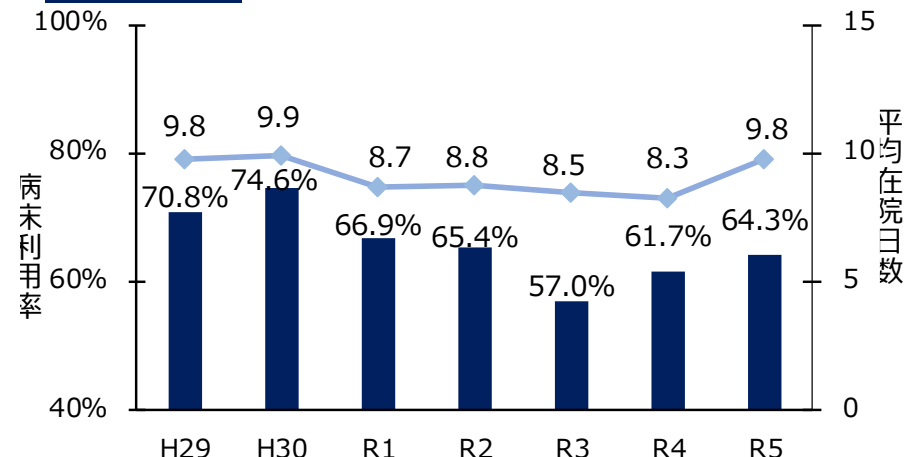
（出所）病床機能報告より作成

# 【区中央部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

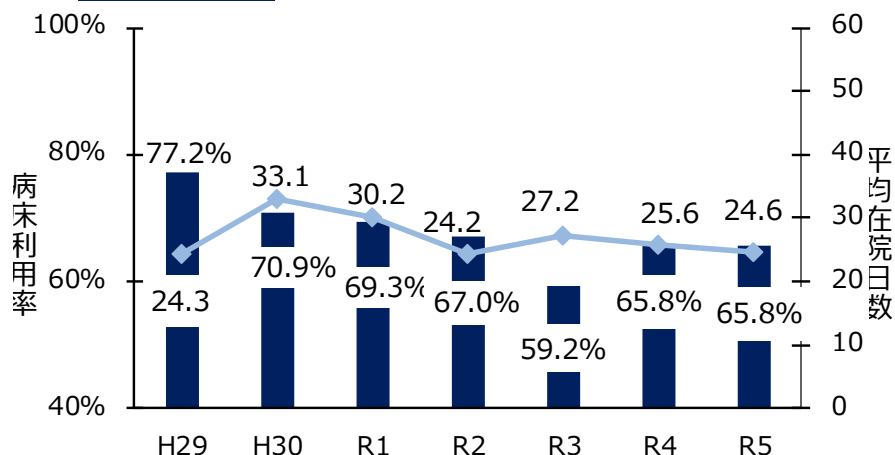
## 高度急性期



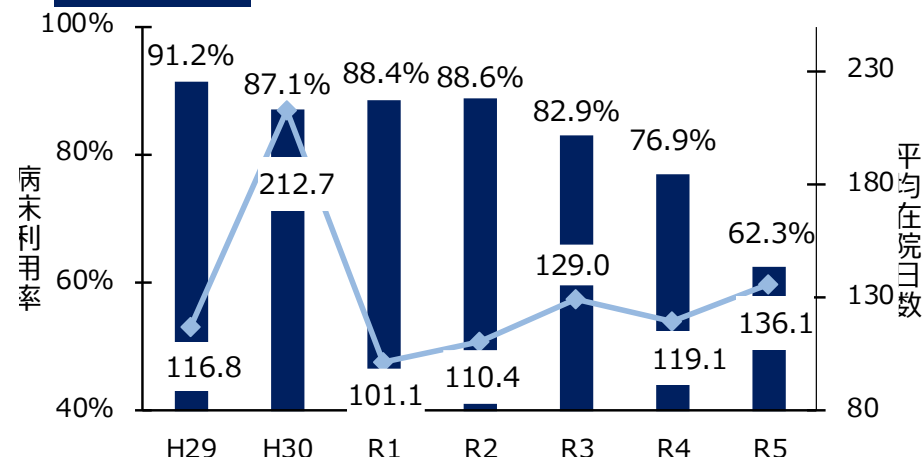
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{許可病床数} \times \text{年間日数})} \times 100$

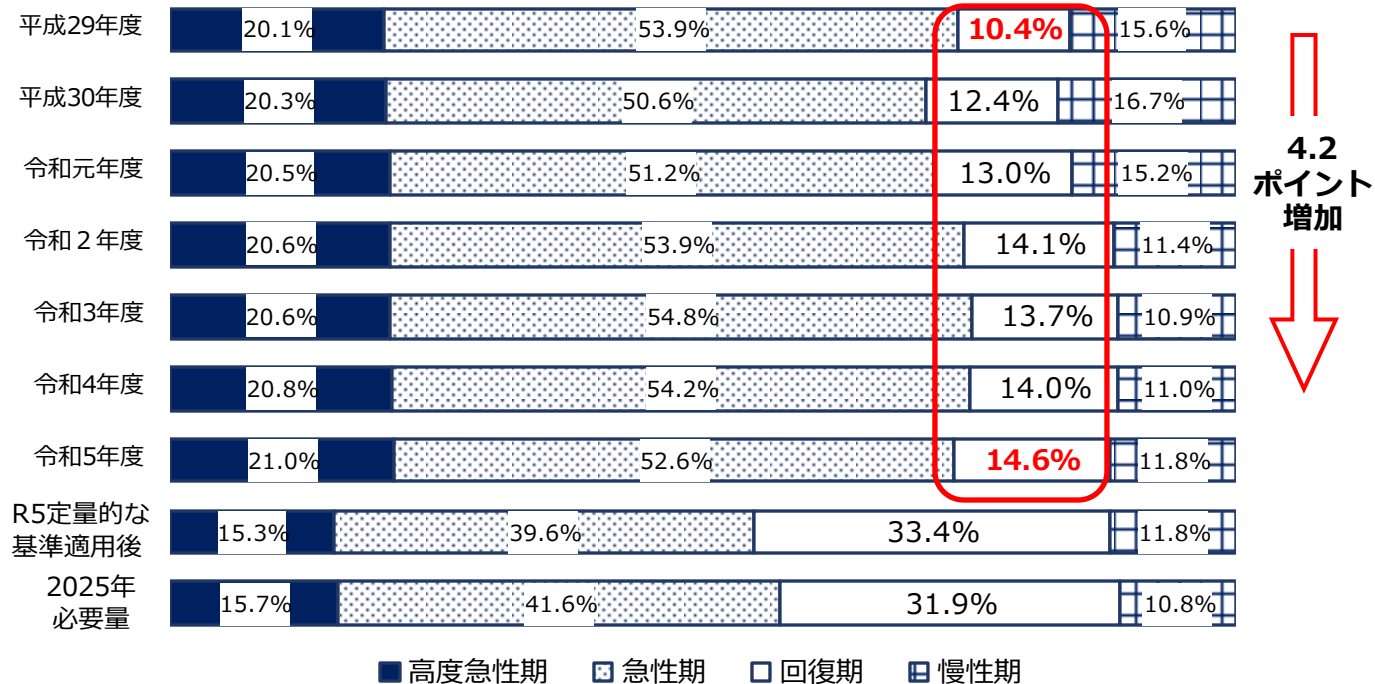
平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{新規入棟患者数} + \text{退棟患者数}) \times 1/2}$

■ 病床利用率  
 ◆ 平均在院日数 (右軸)  
 (出所) 病床機能報告より作成

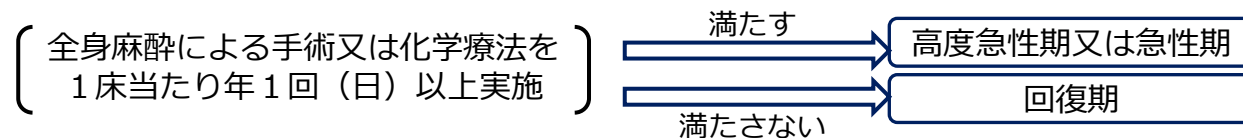
# 【区南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 4.2 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

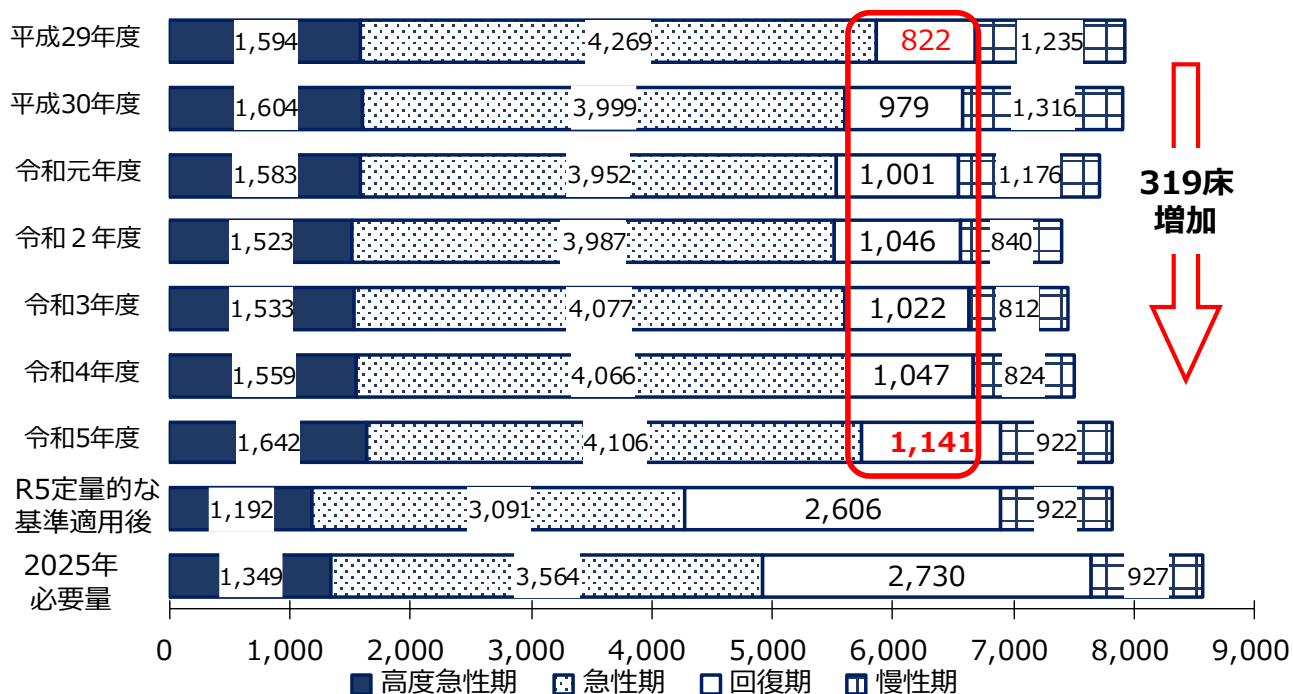


（出所）病床機能報告より作成

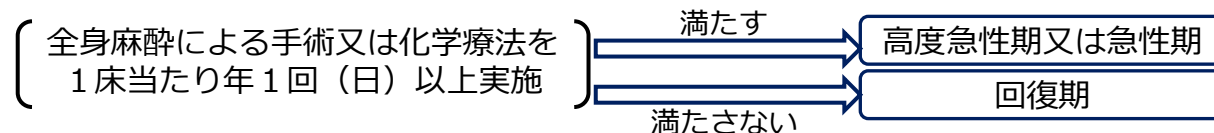
## 【区南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 319床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



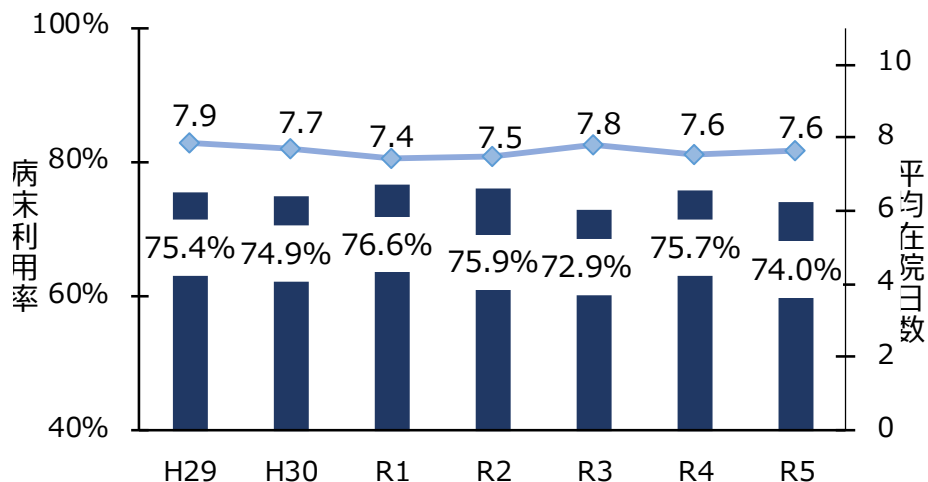
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



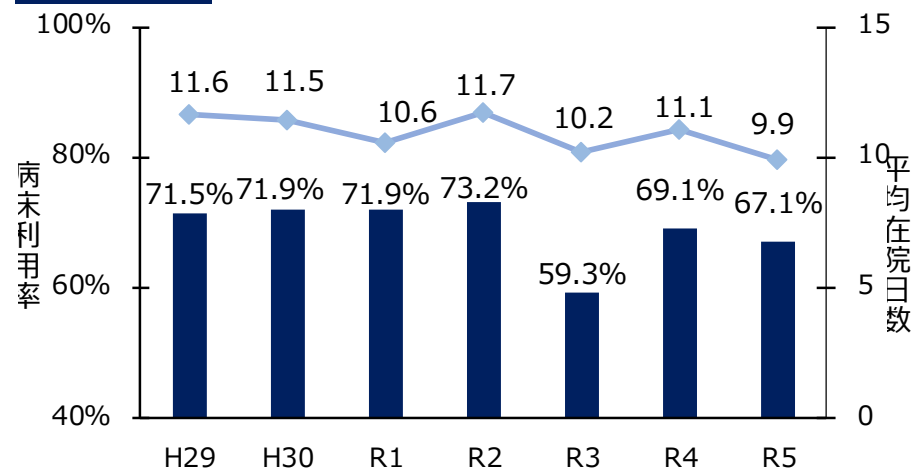
（出所）病床機能報告より作成

# 【区南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

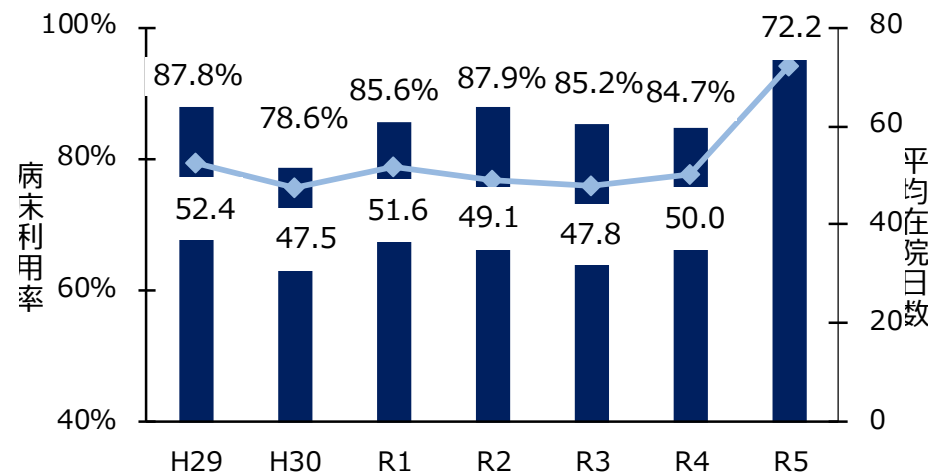
## 高度急性期



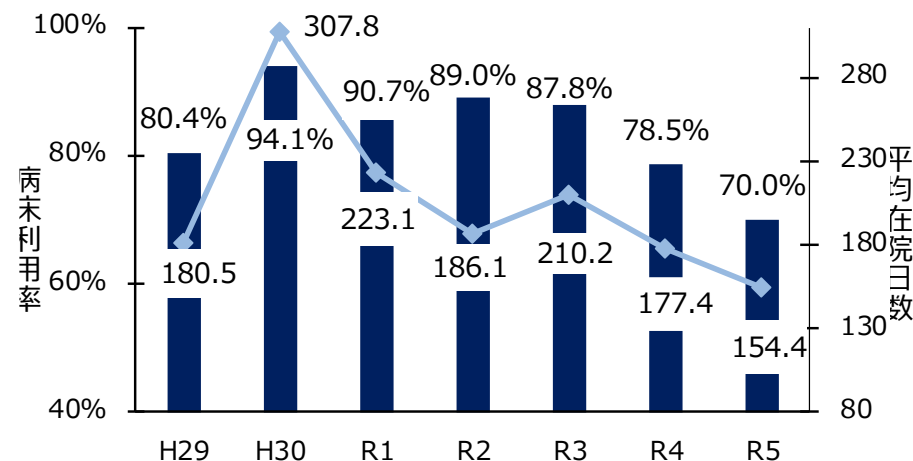
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

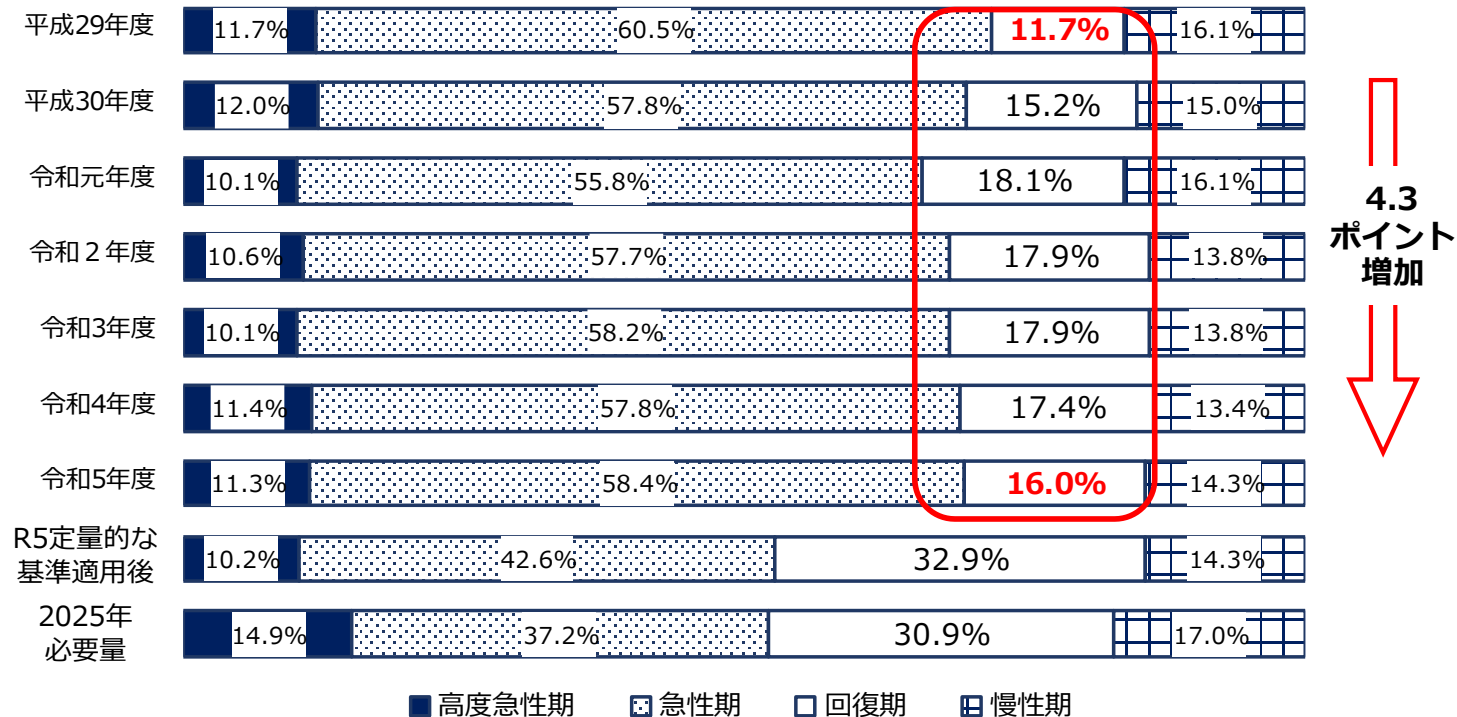
(出所) 病床機能報告より作成



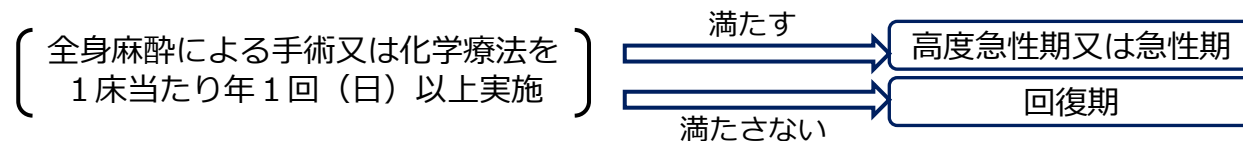
# 【区西南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 4.3ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

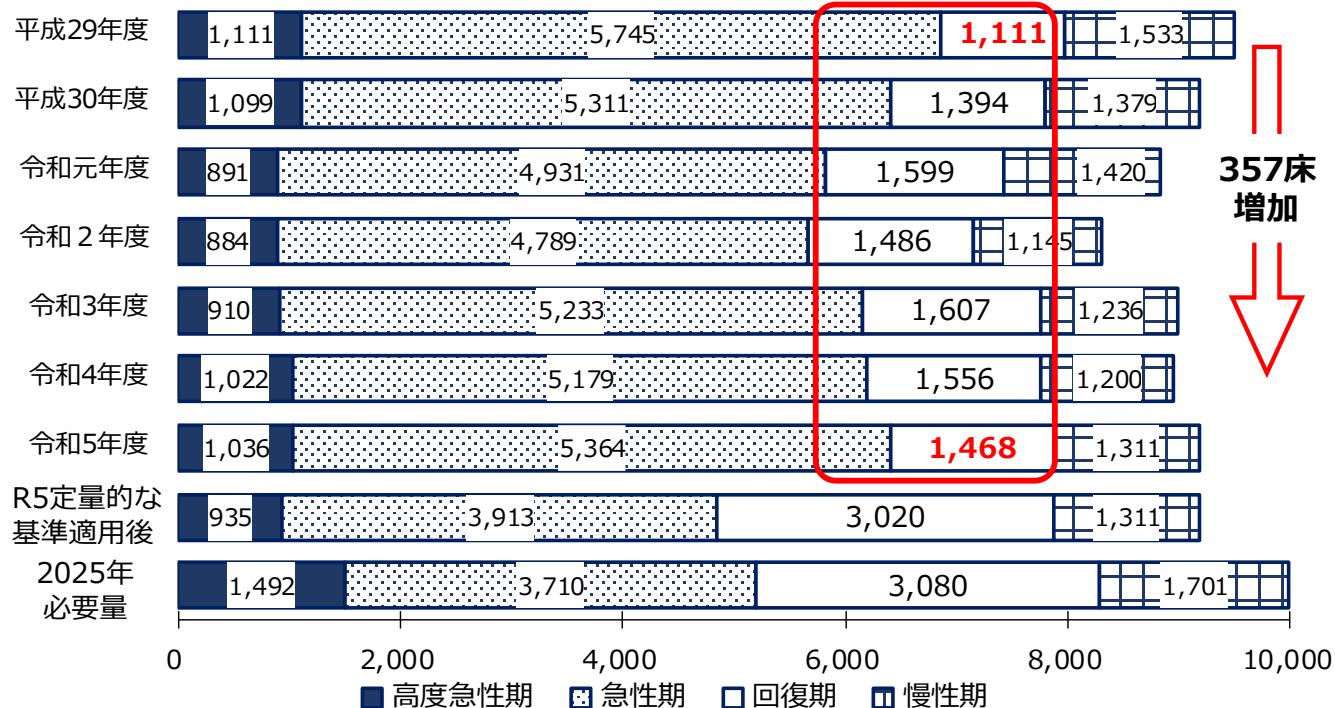


（出所）病床機能報告より作成

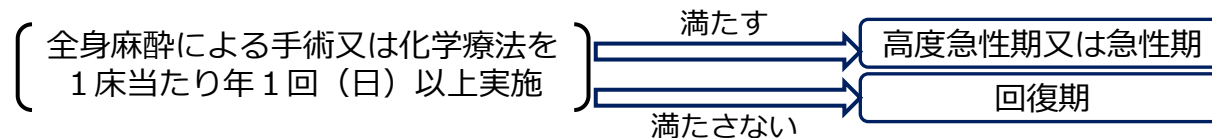
## 【区西南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 357 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



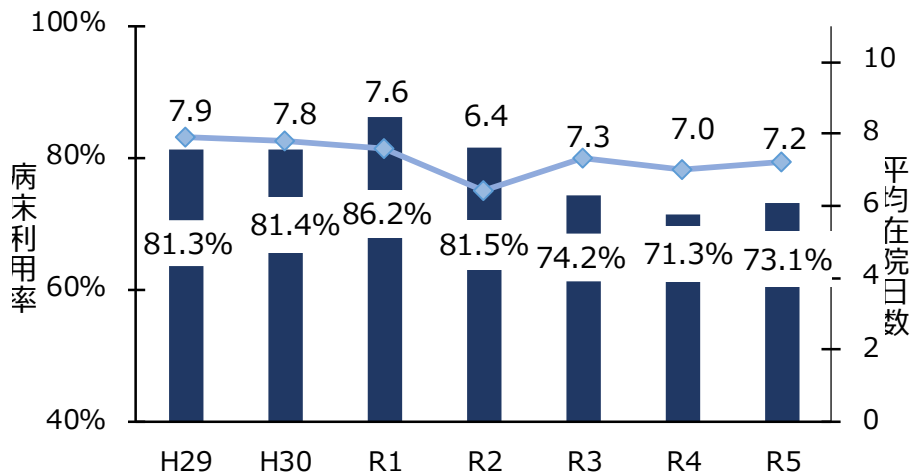
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



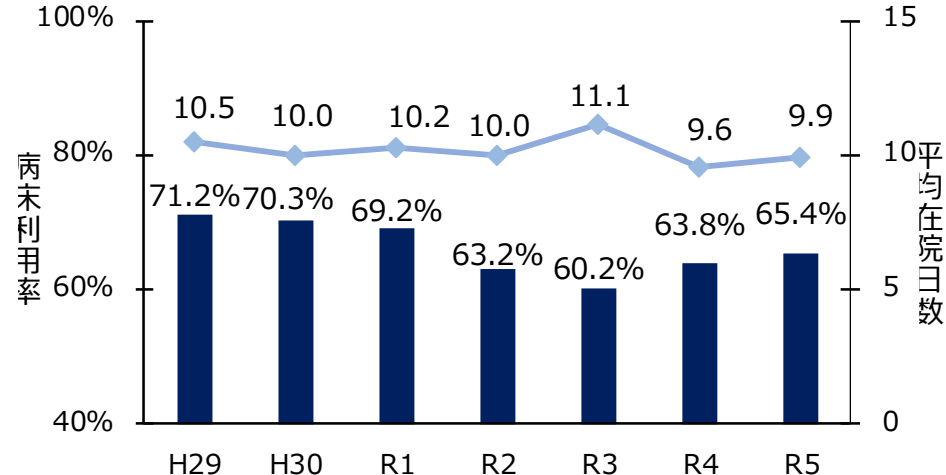
（出所）病床機能報告より作成

# 【区西南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

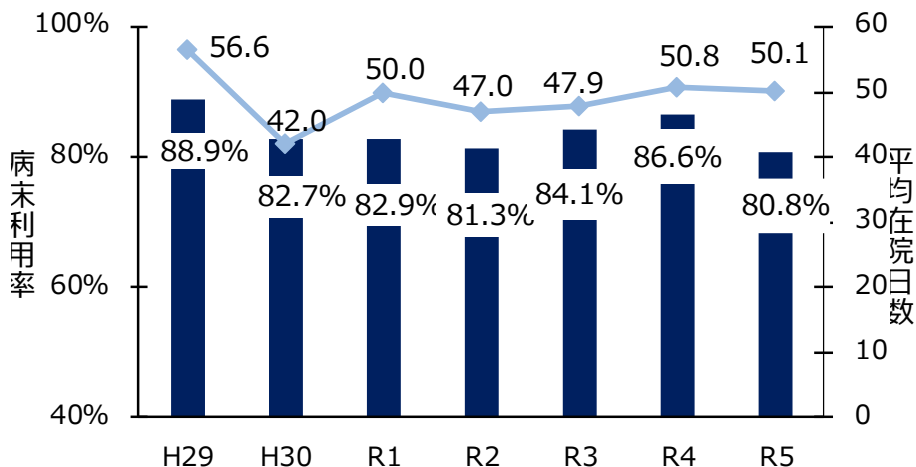
## 高度急性期



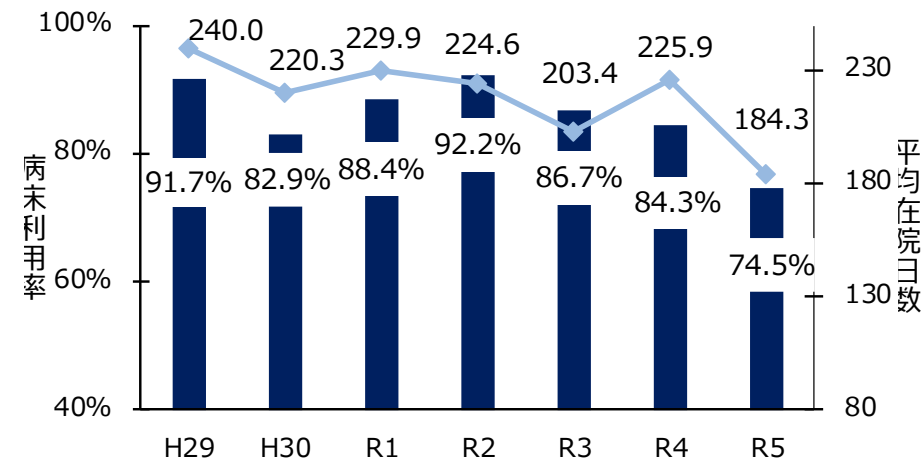
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

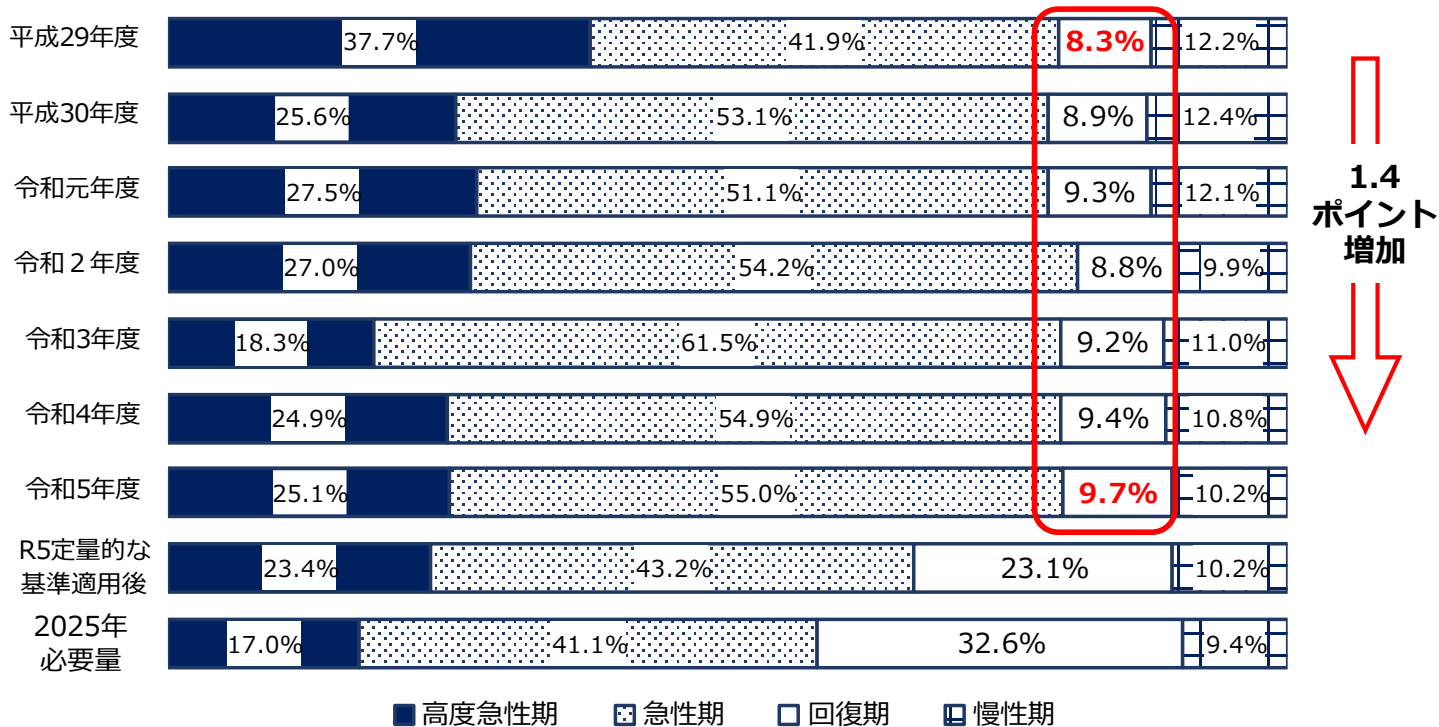
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

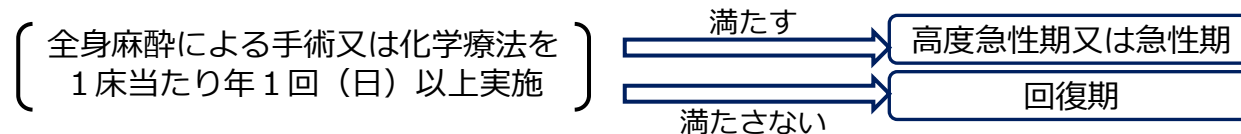
# 【区西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 1.4 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

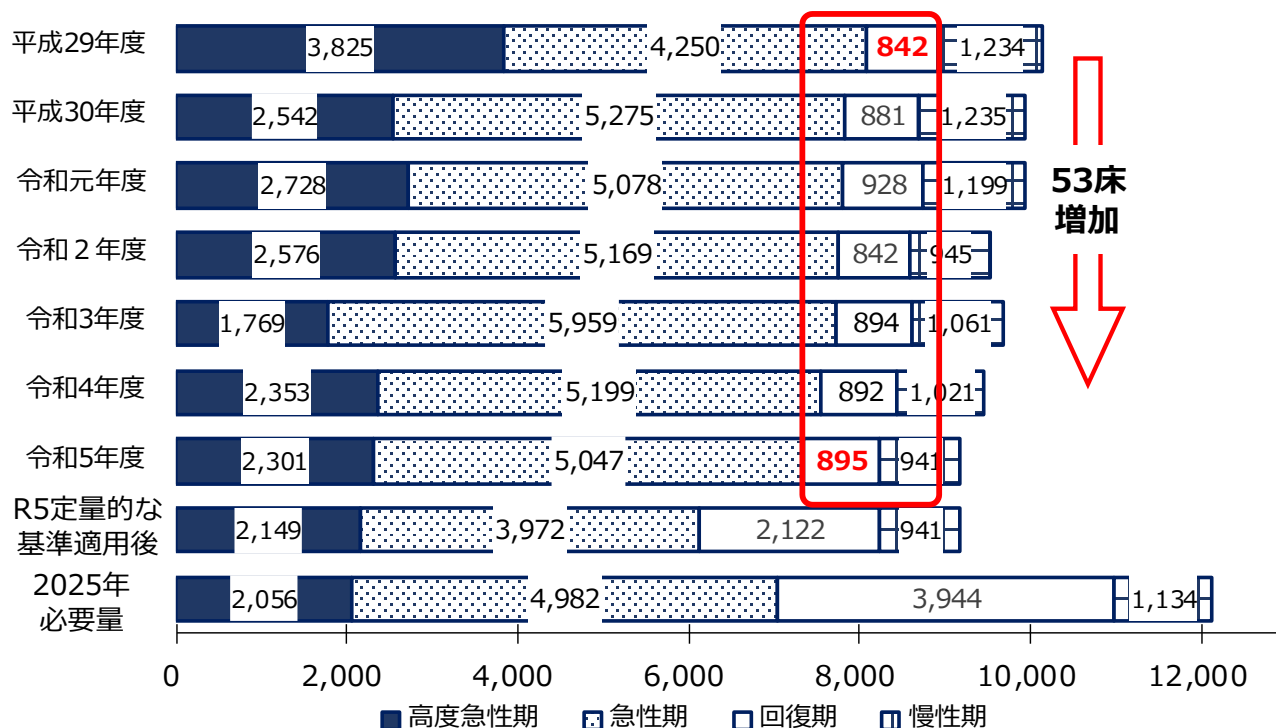


（出所）病床機能報告より作成

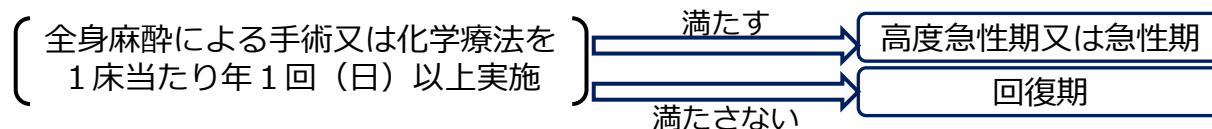
## 【区西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では53床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



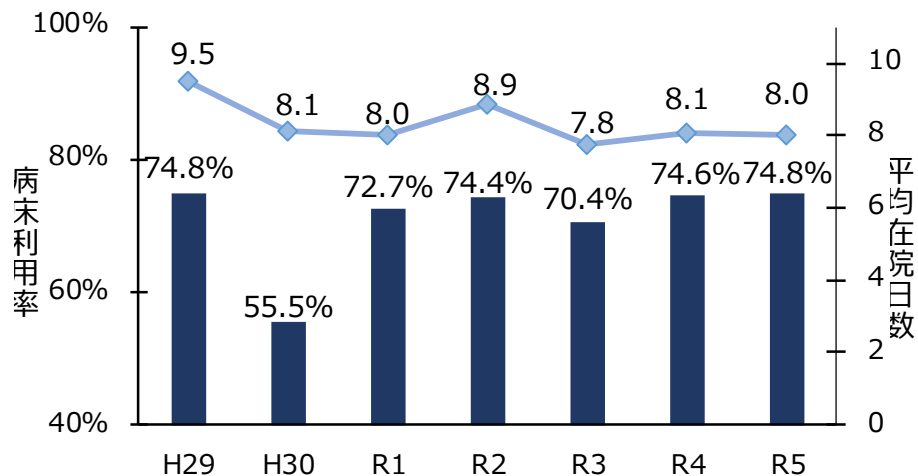
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



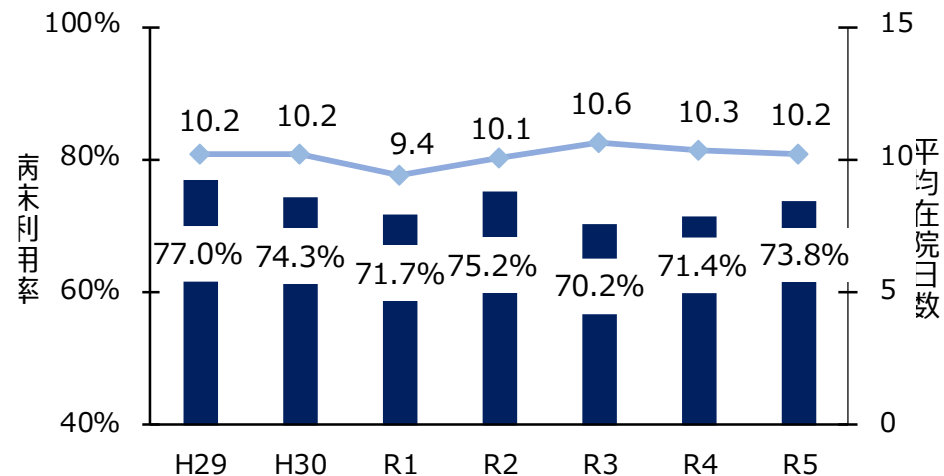
（出所）病床機能報告より作成

# 【区西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

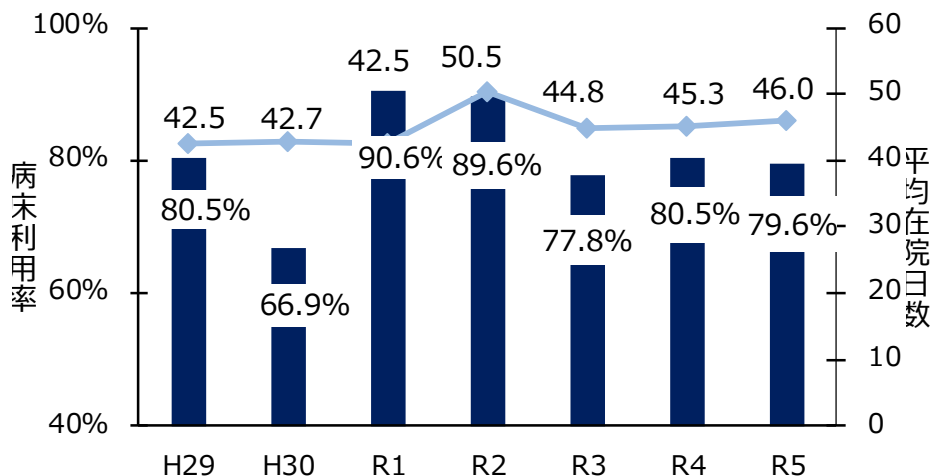
## 高度急性期



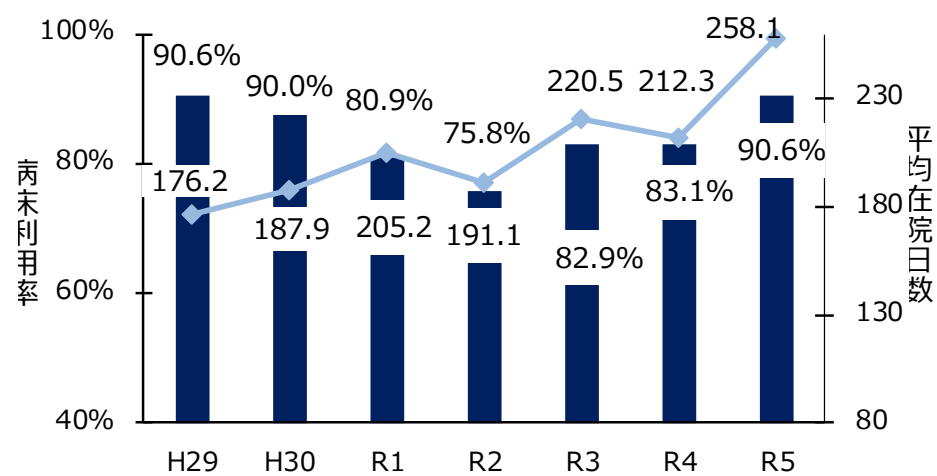
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

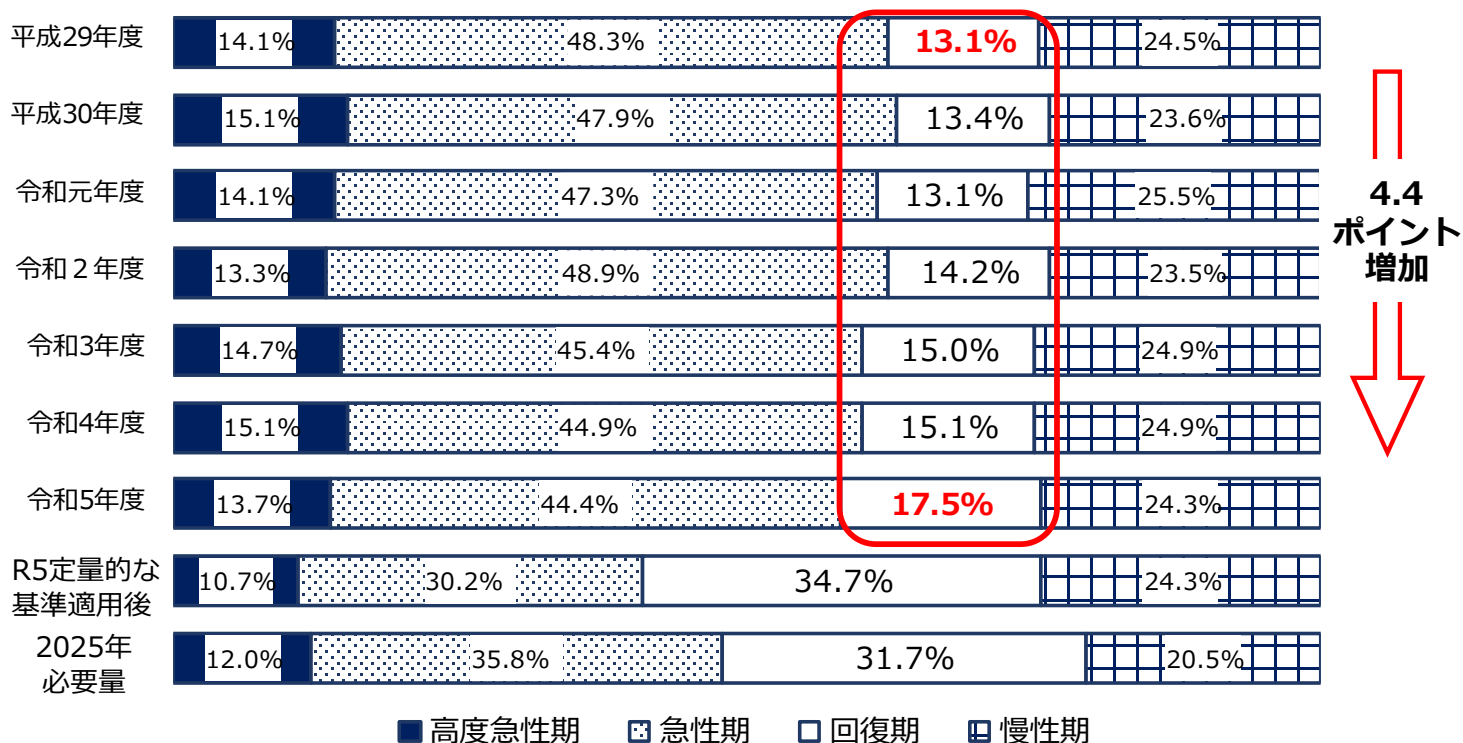
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

# 【区西北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 4.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

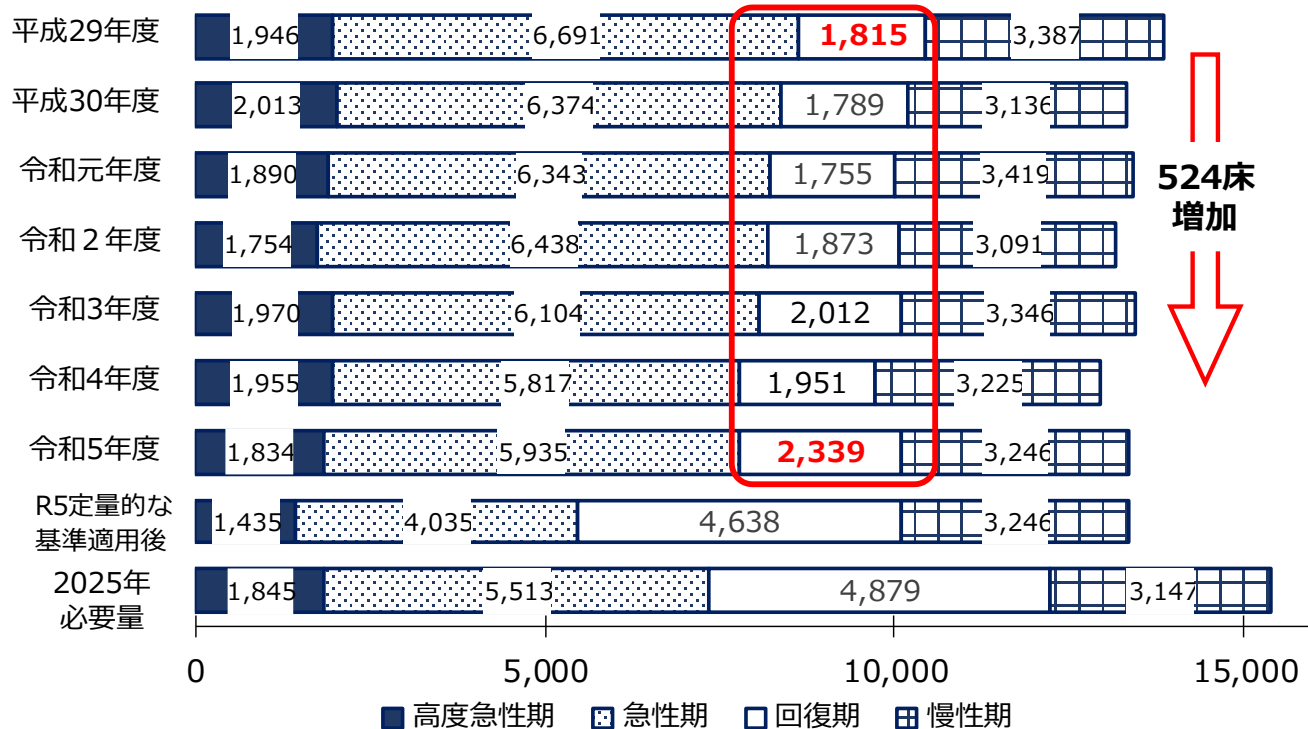


（出所）病床機能報告より作成

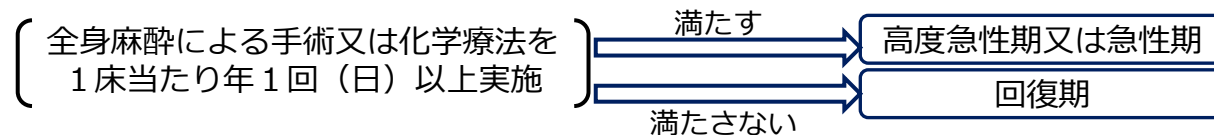
## 【区西北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 524 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

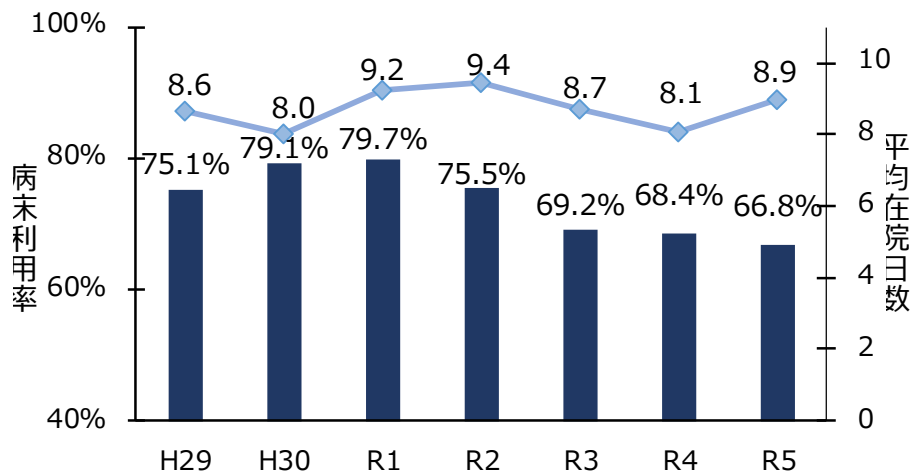


（出所）病床機能報告より作成

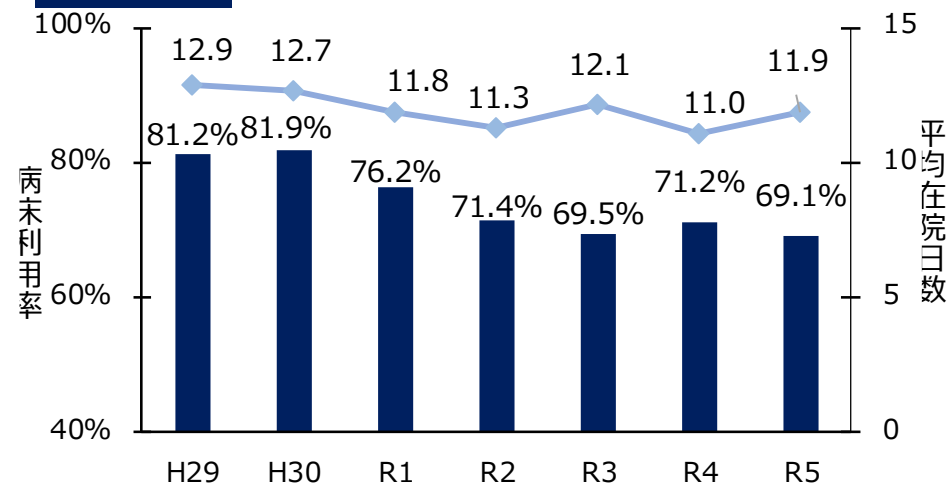


# 【区西北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

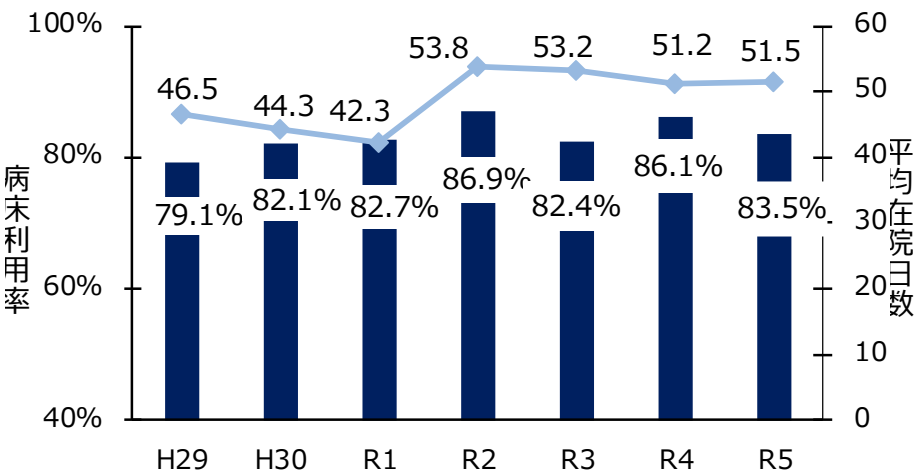
## 高度急性期



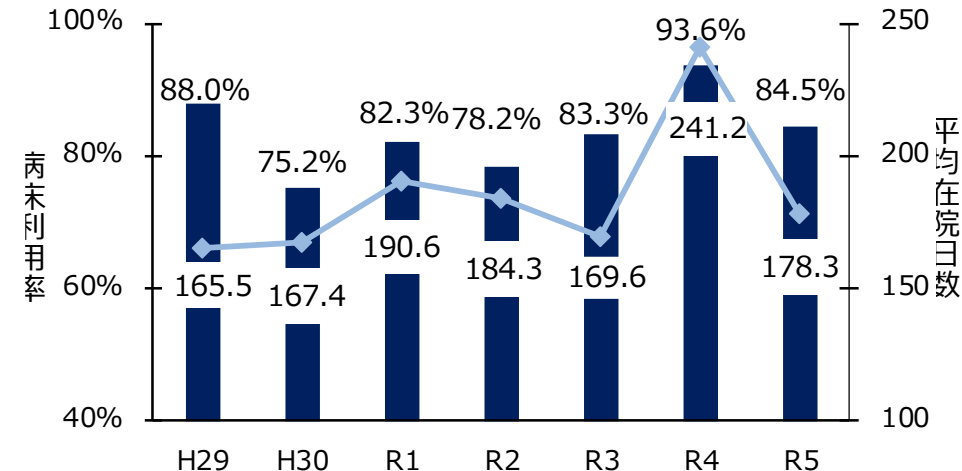
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

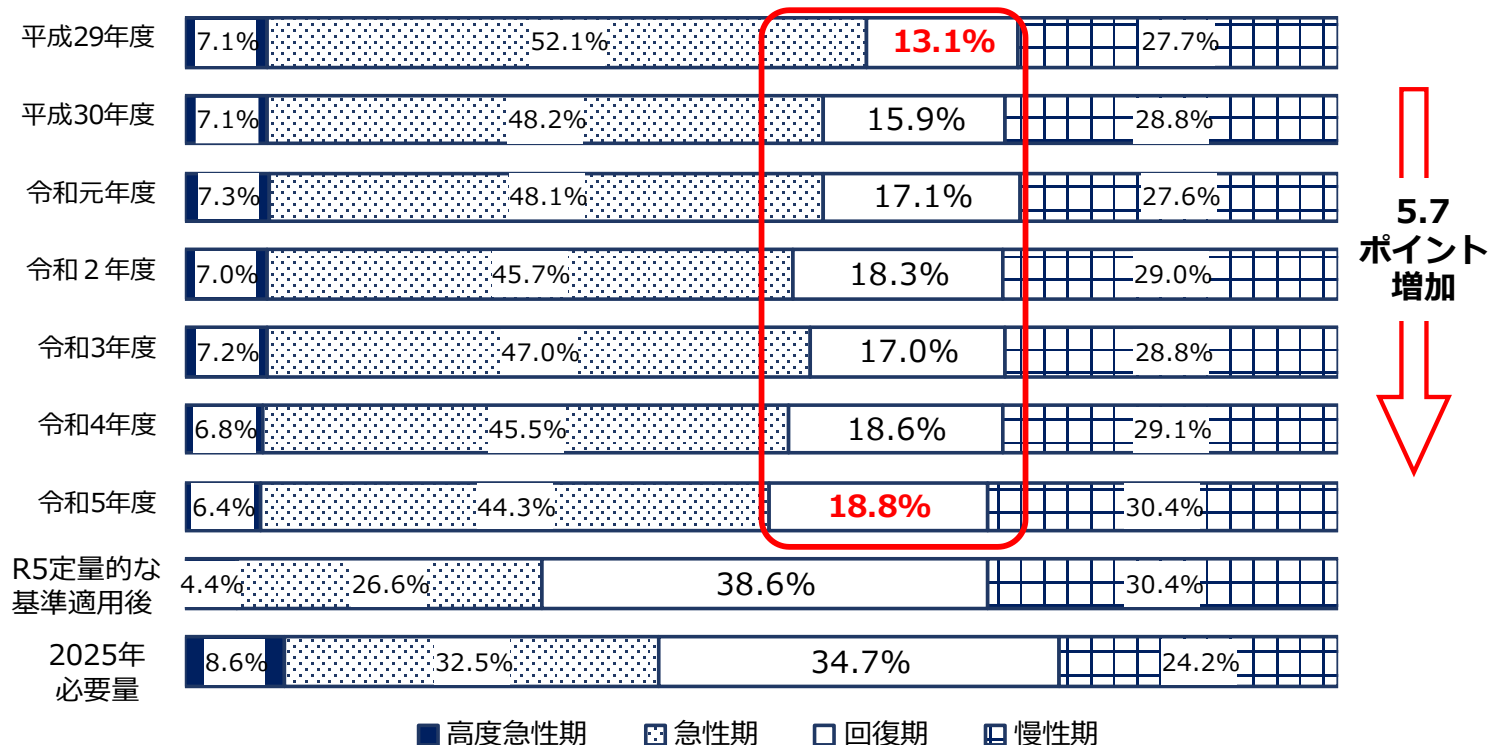
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

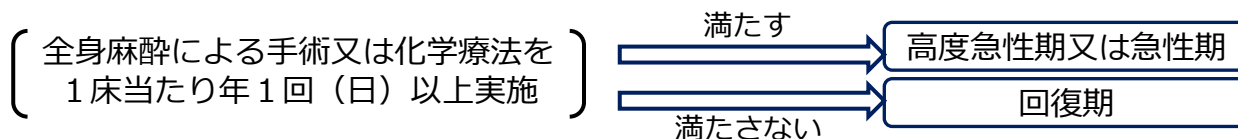
# 【区東北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 5.7 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

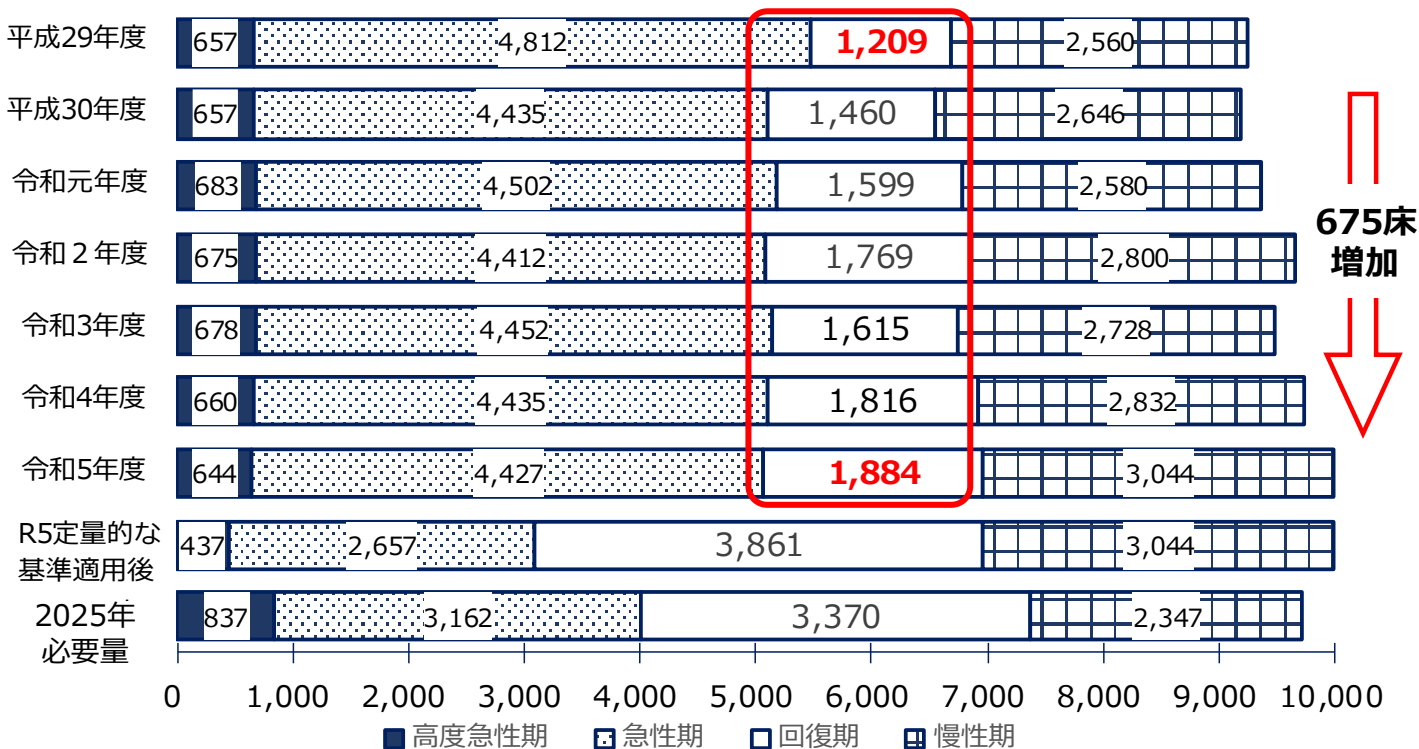


（出所）病床機能報告より作成

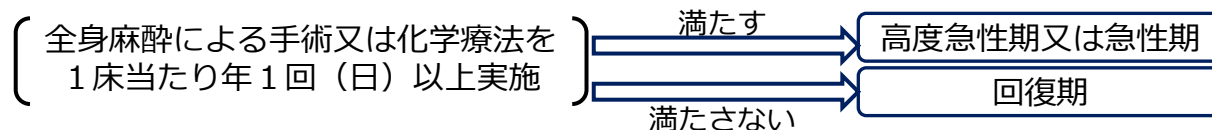
## 【区東北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 675 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



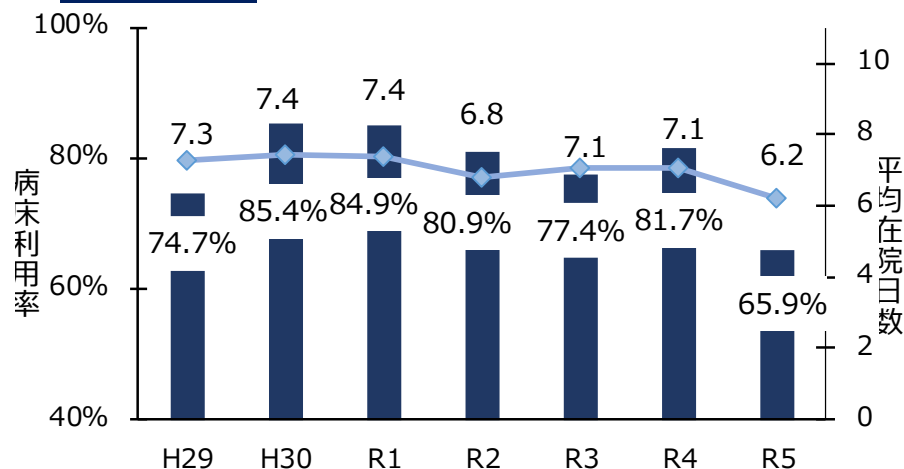
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



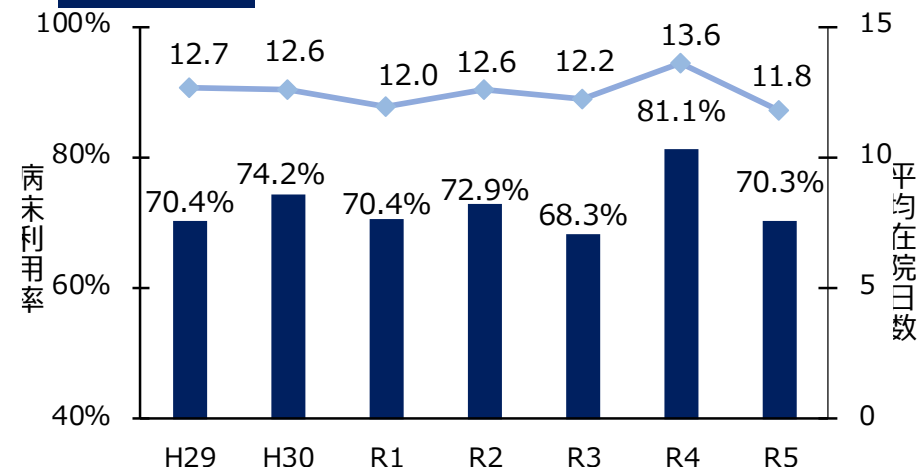
（出所）病床機能報告より作成

# 【区東北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

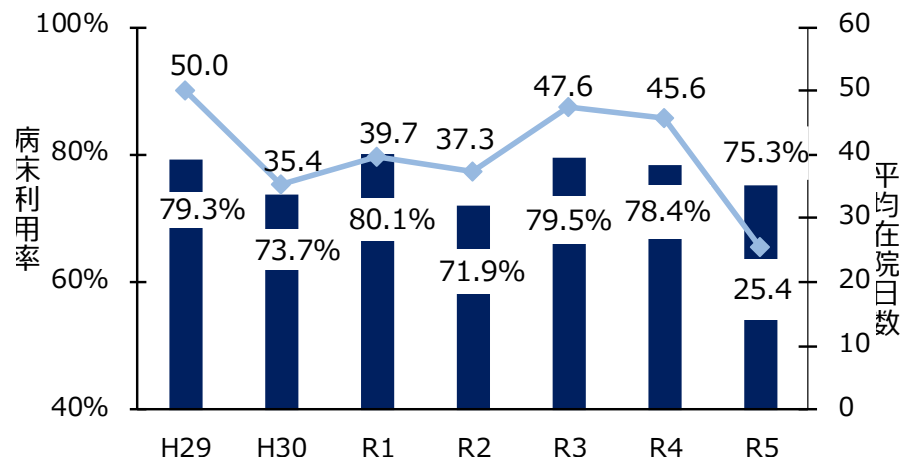
## 高度急性期



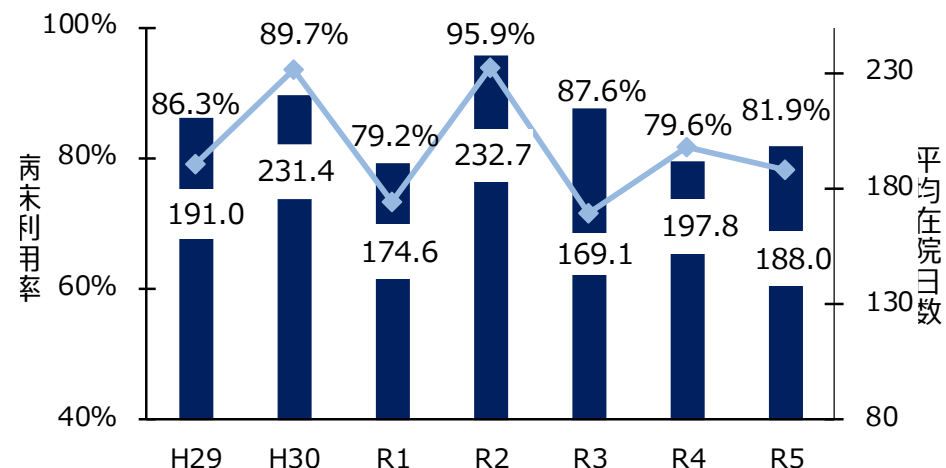
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

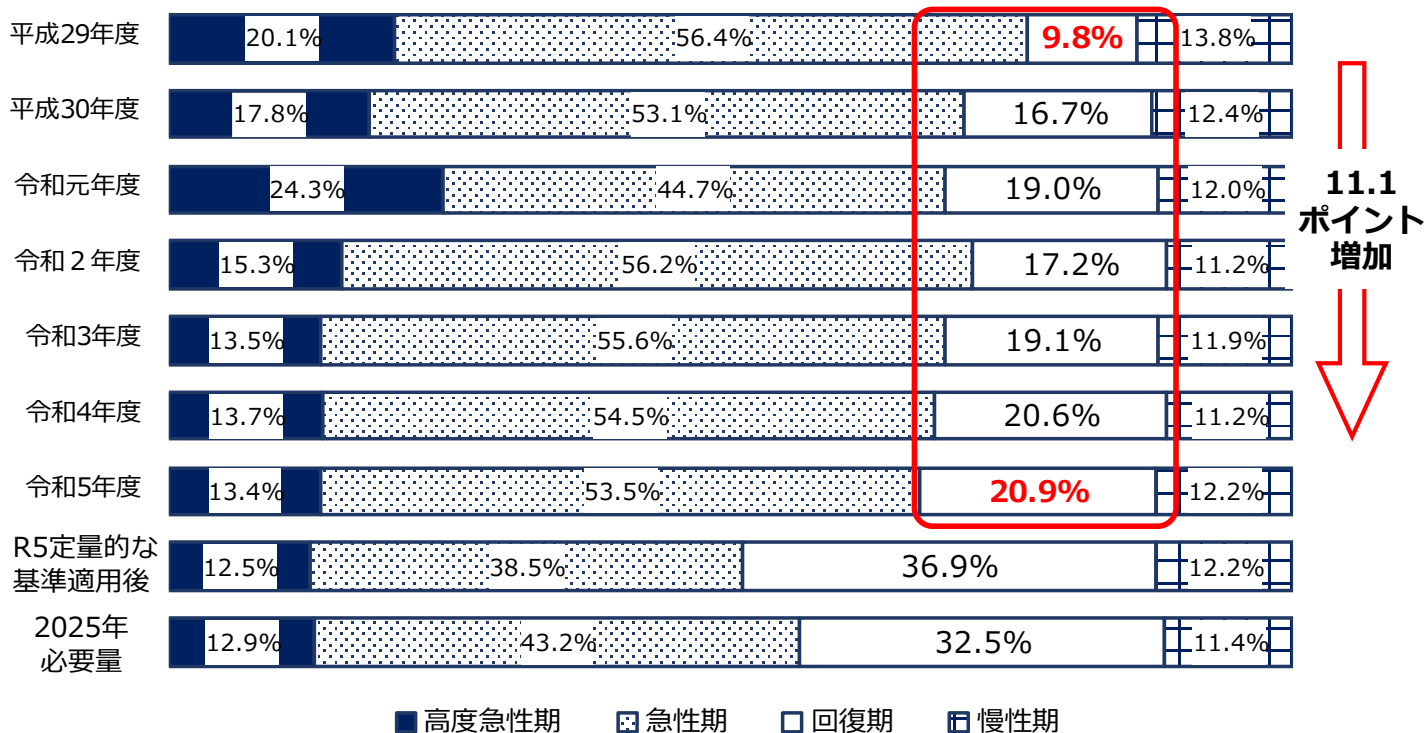
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

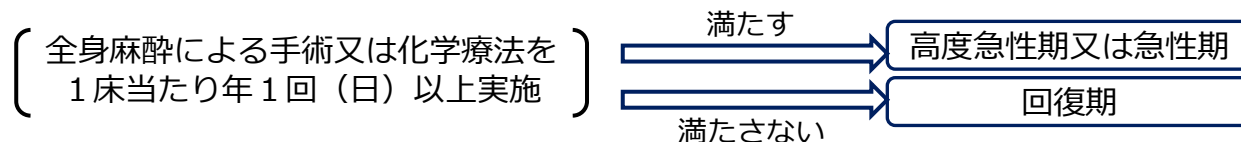
# 【区東部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では11.1ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

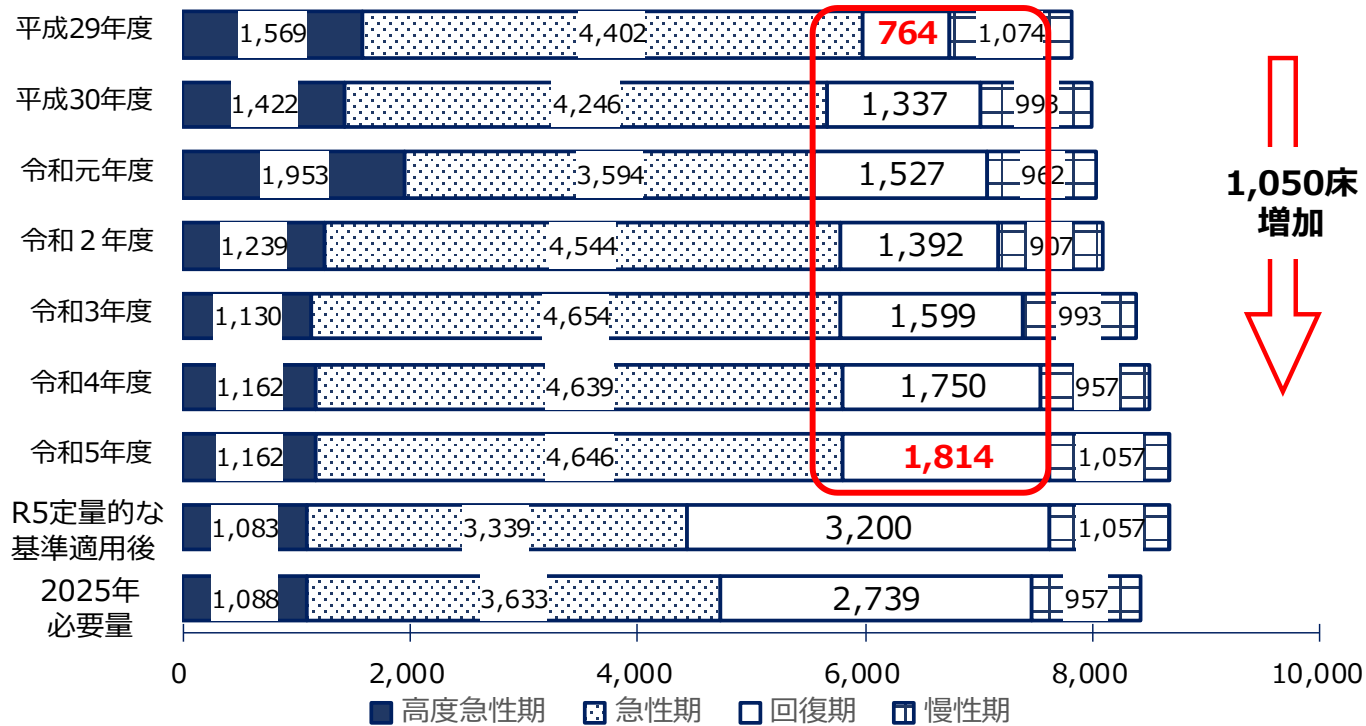


(出所) 病床機能報告より作成

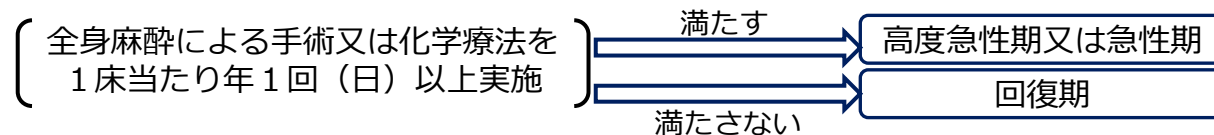
## 【区東部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 1,050床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



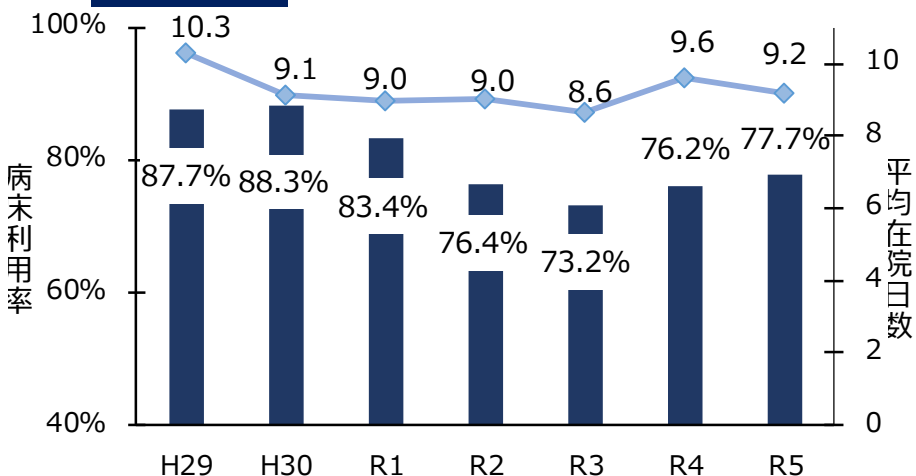
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



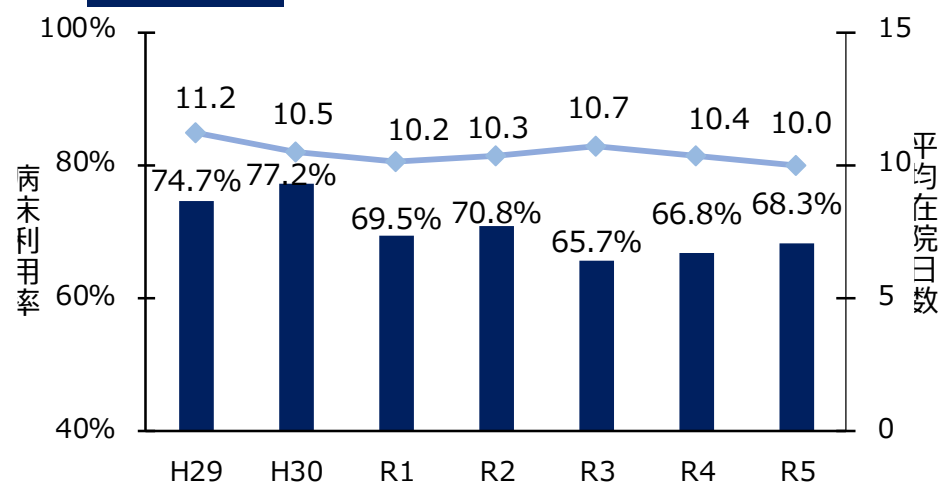
（出所）病床機能報告より作成

# 【区東部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

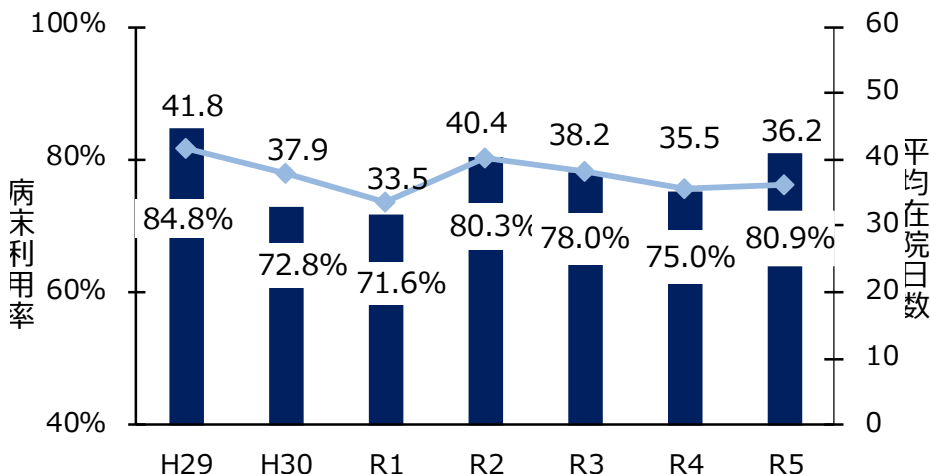
## 高度急性期



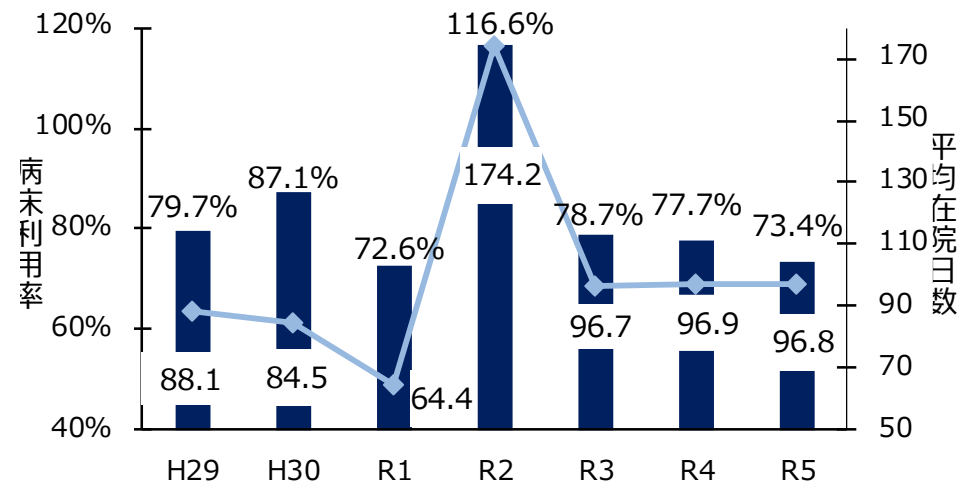
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

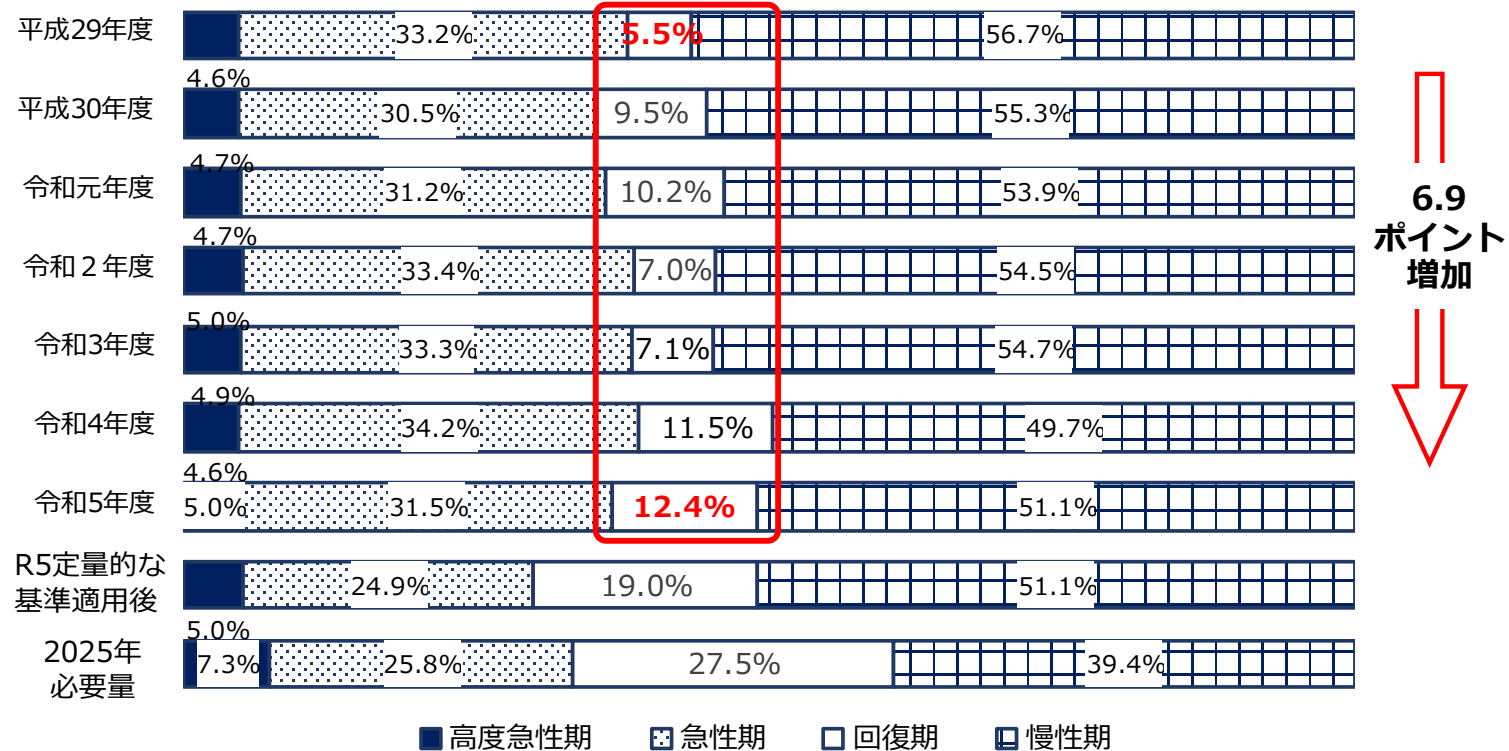
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

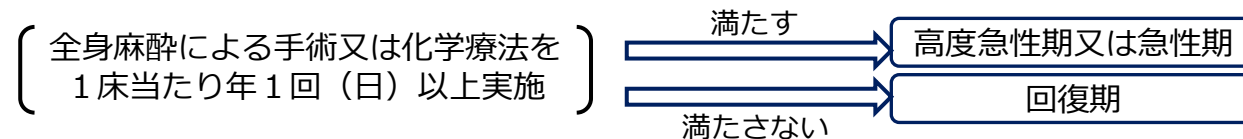
# 【西多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 6.9 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



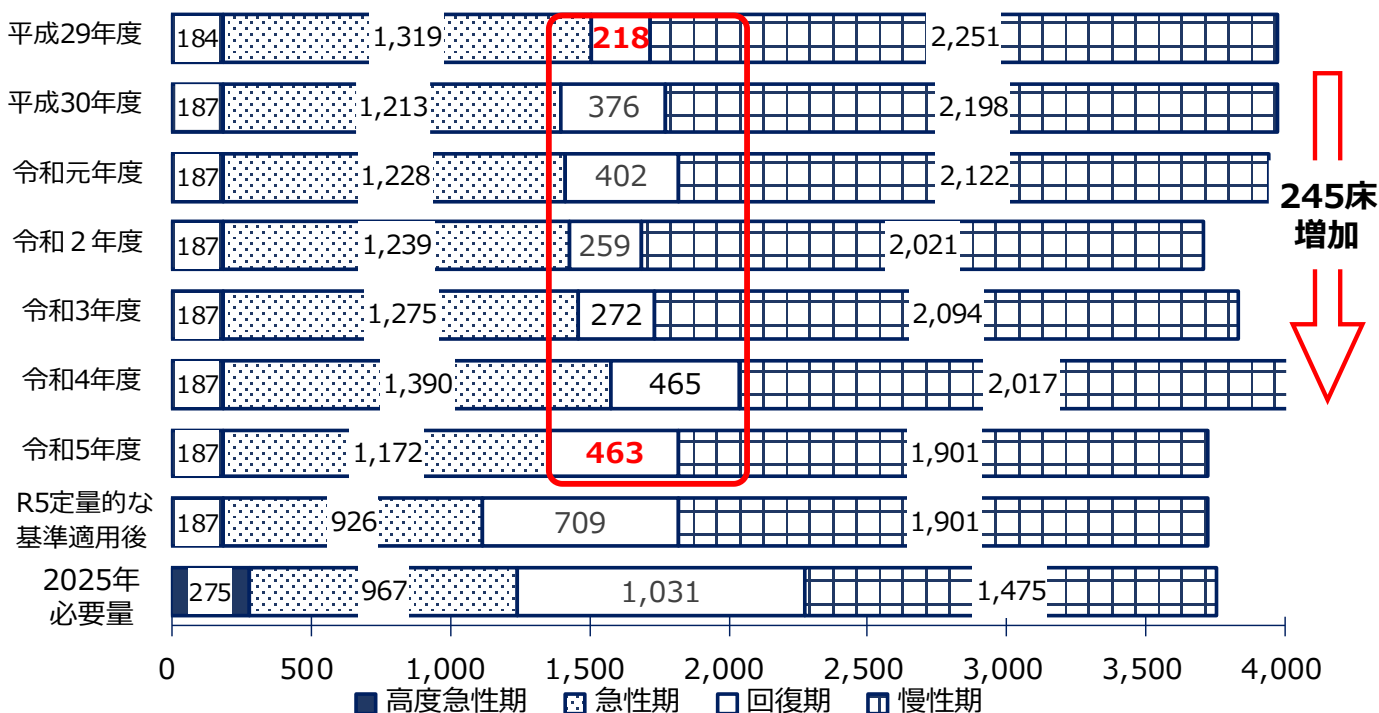
（出所）病床機能報告より作成



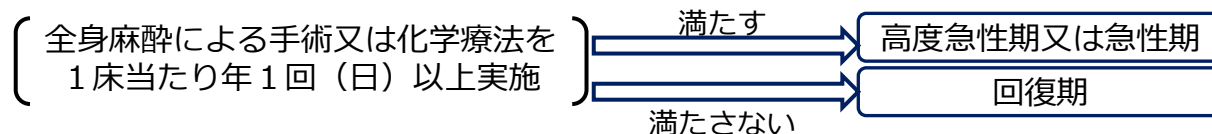
## 【西多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 245 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



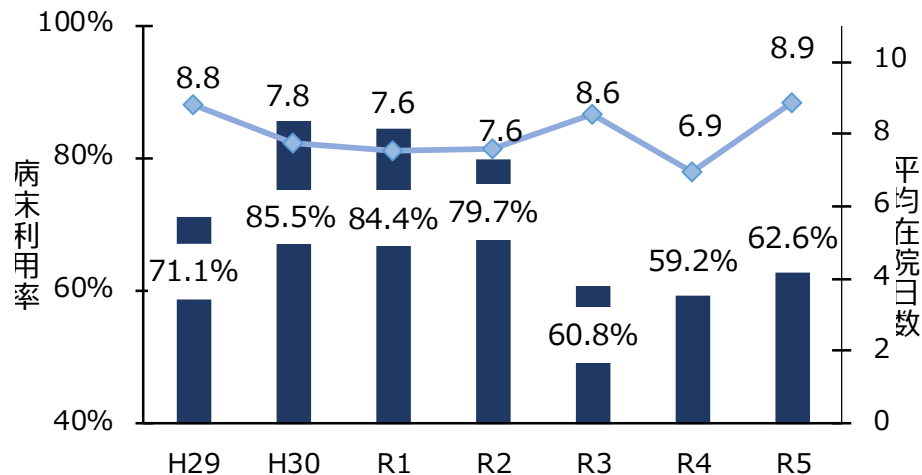
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



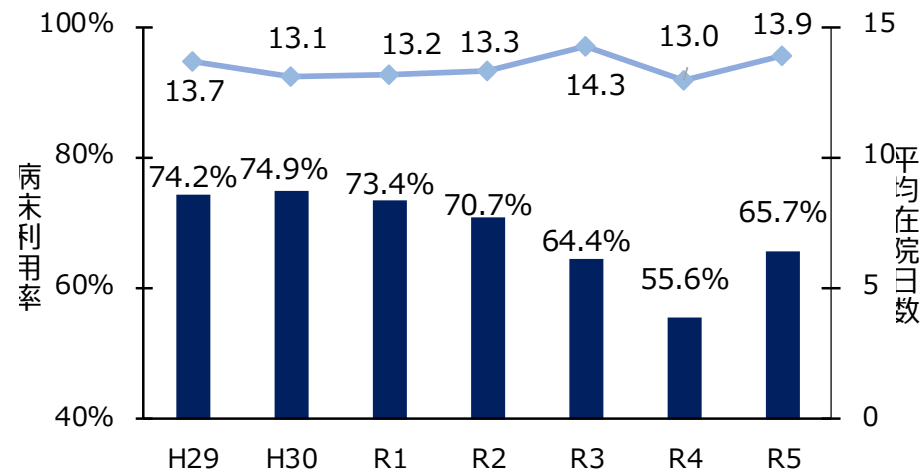
（出所）病床機能報告より作成

# 【西多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

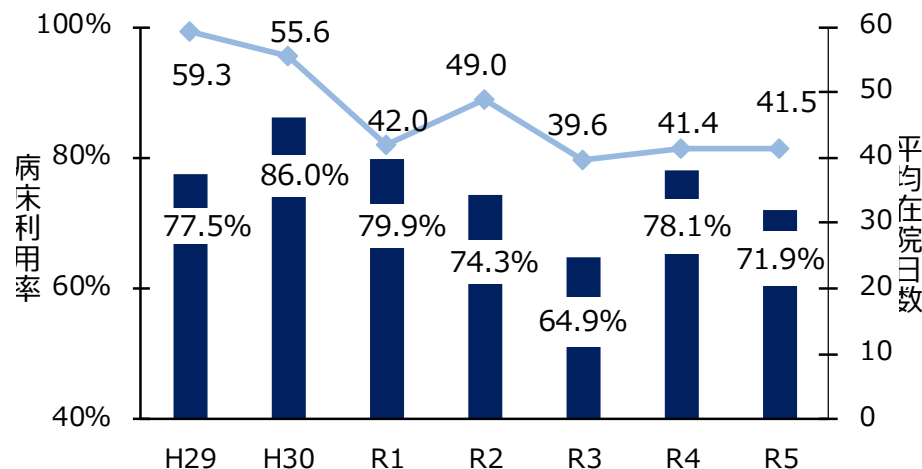
## 高度急性期



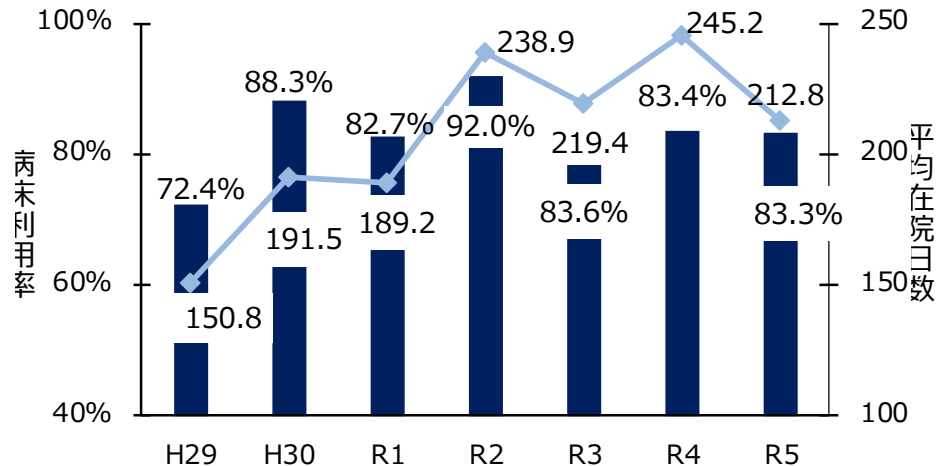
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

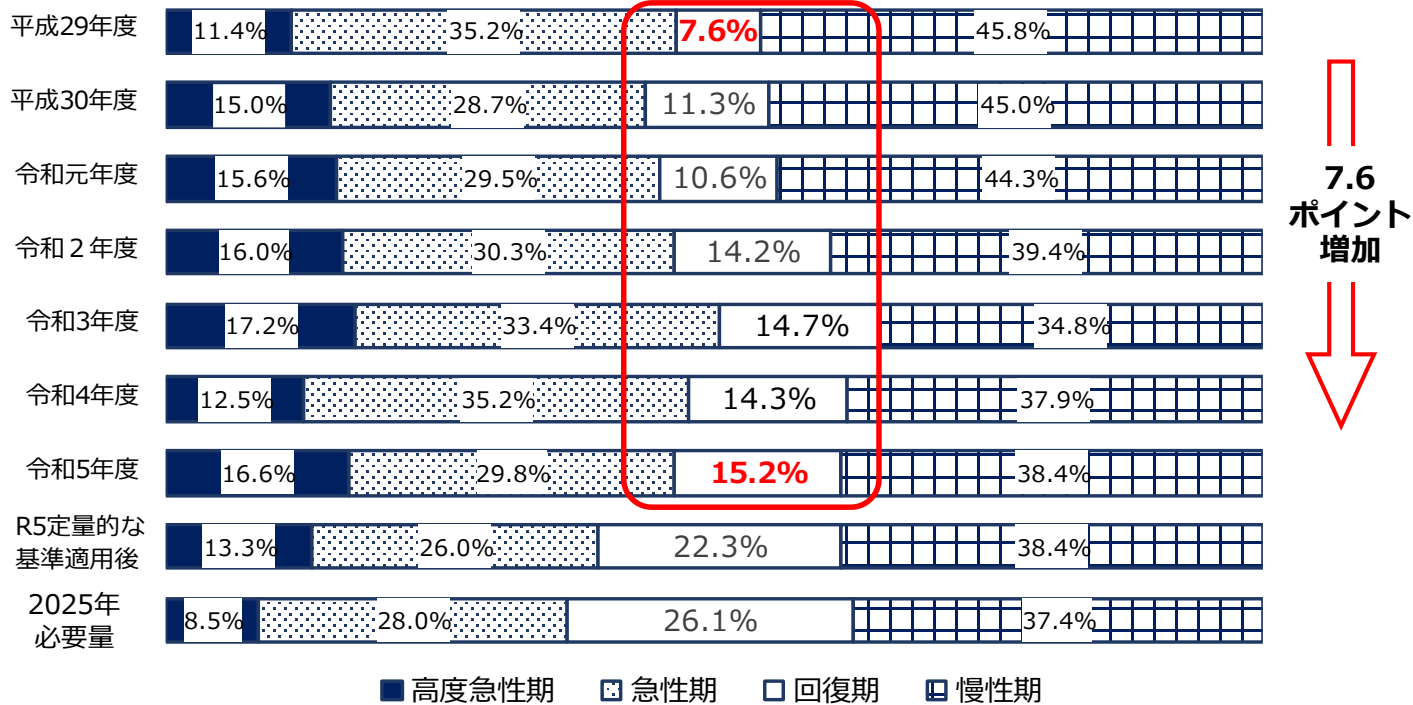
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

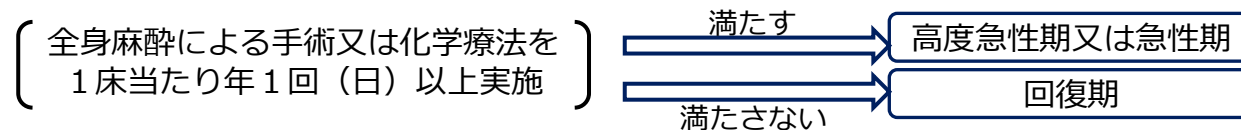
# 【南多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 7.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

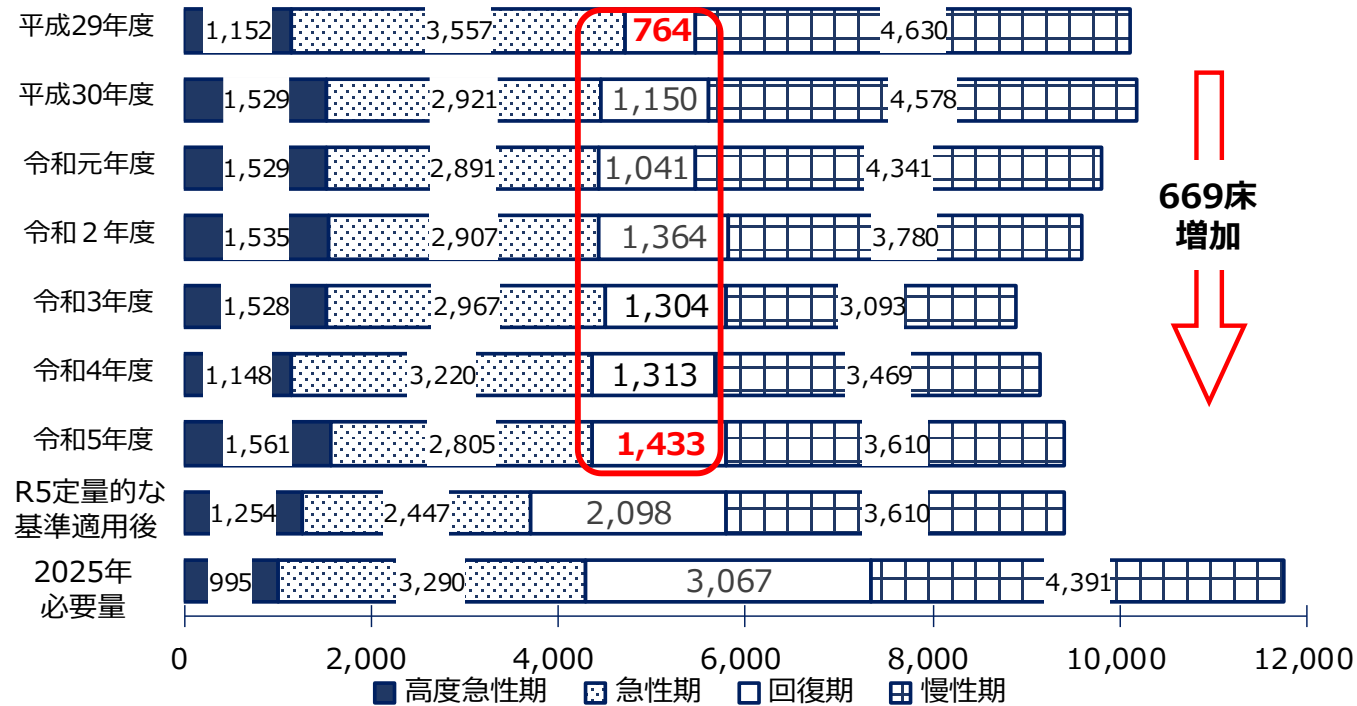


（出所）病床機能報告より作成

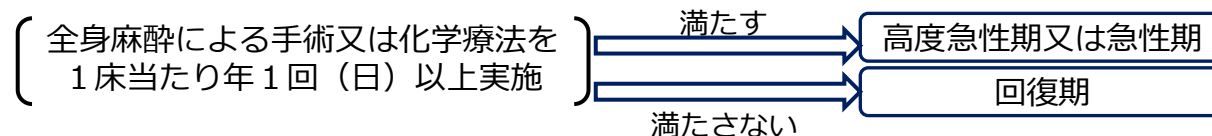
## 【南多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 669床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



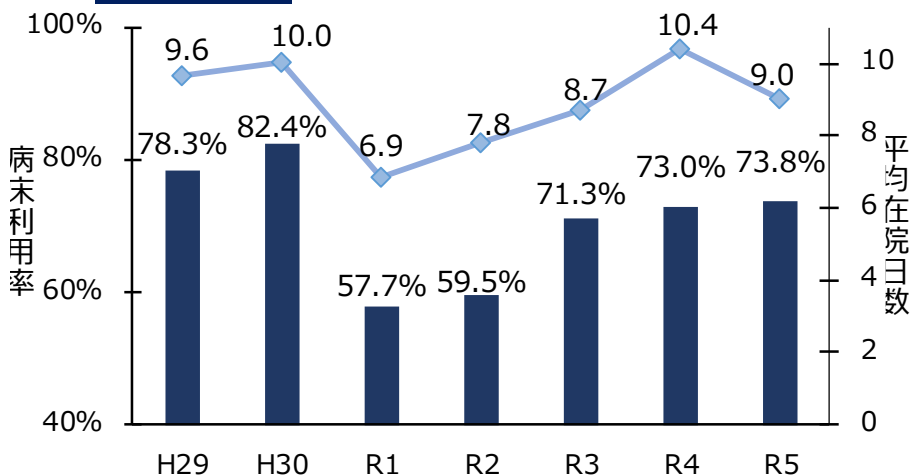
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



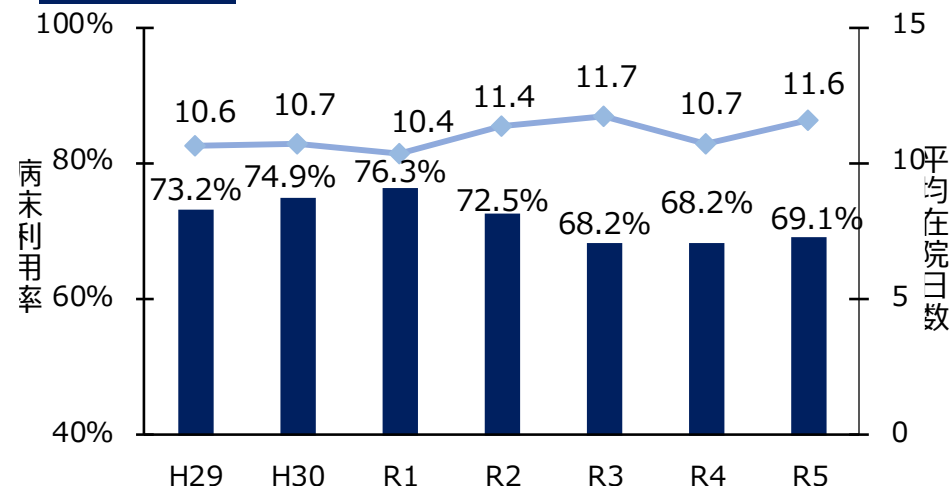
（出所）病床機能報告より作成

# 【南多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

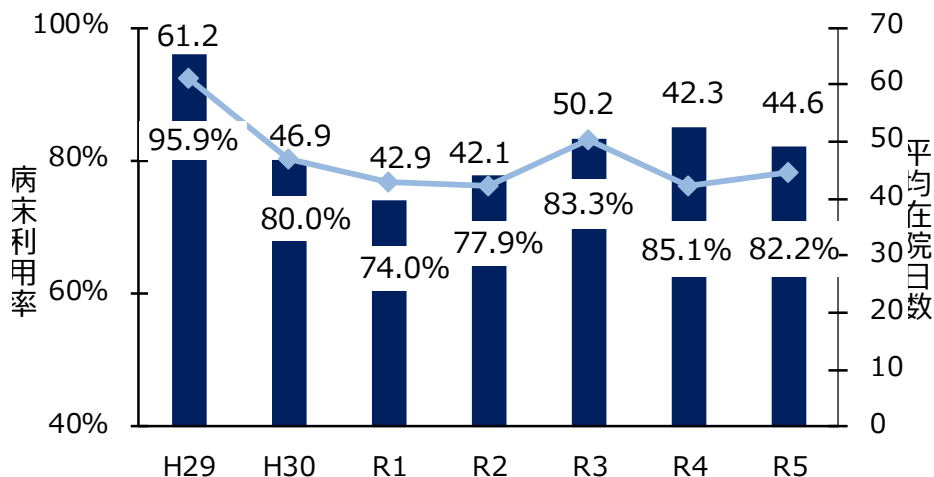
## 高度急性期



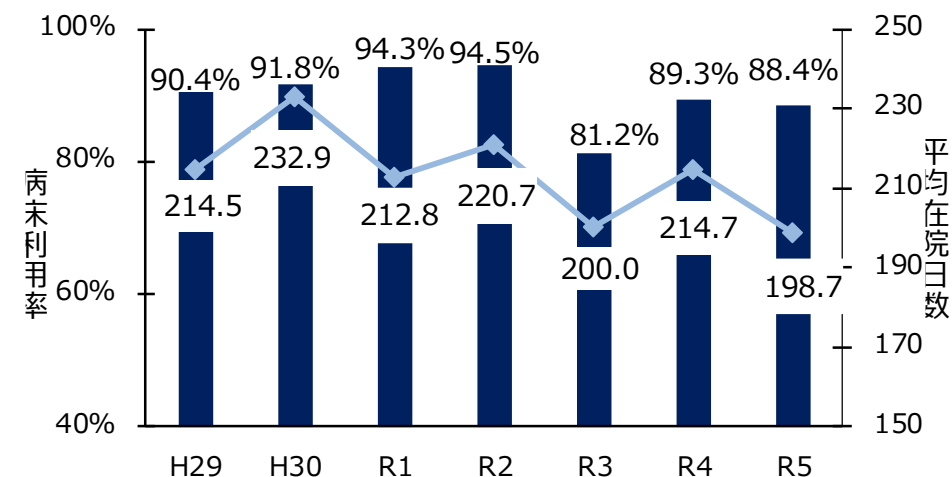
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

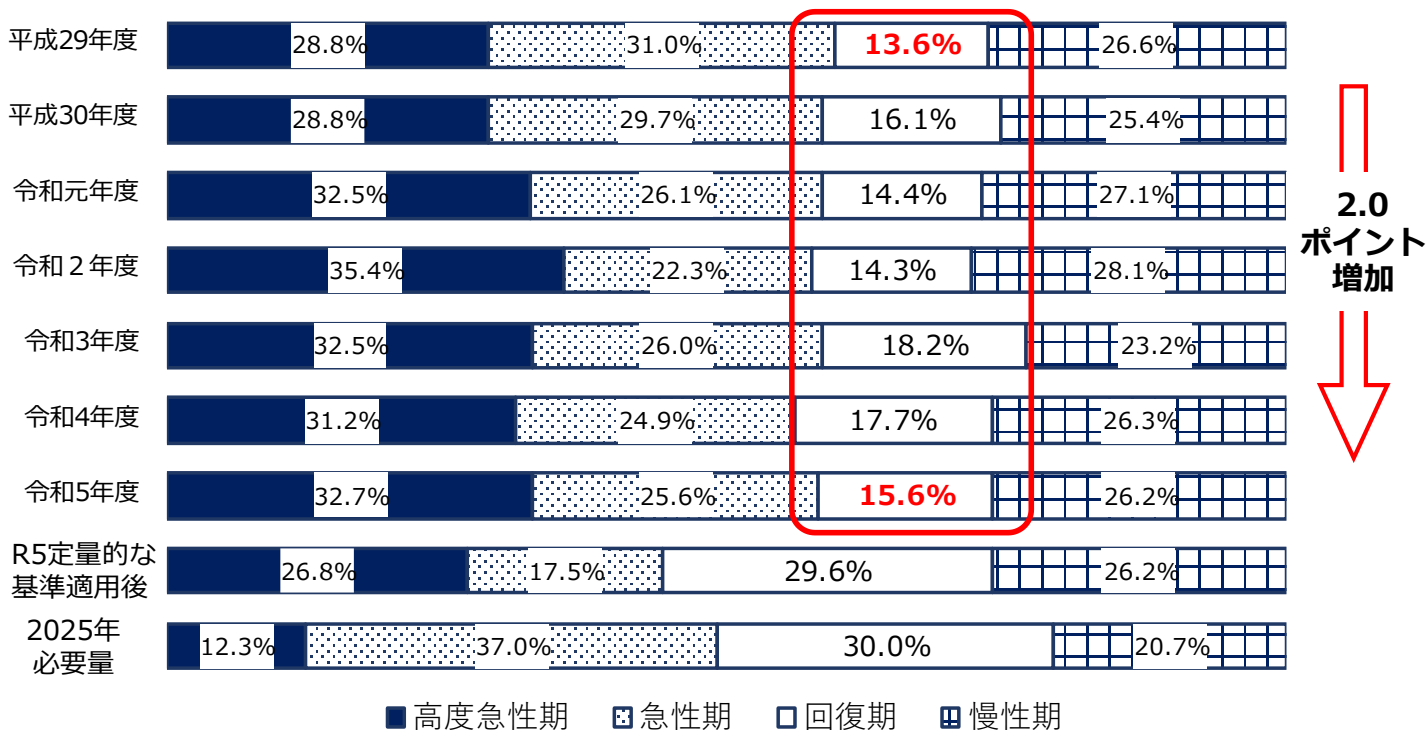
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

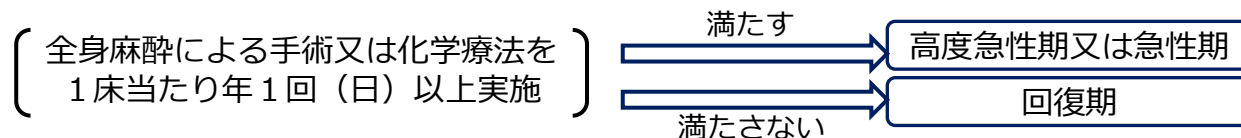
# 【北多摩西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 2.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

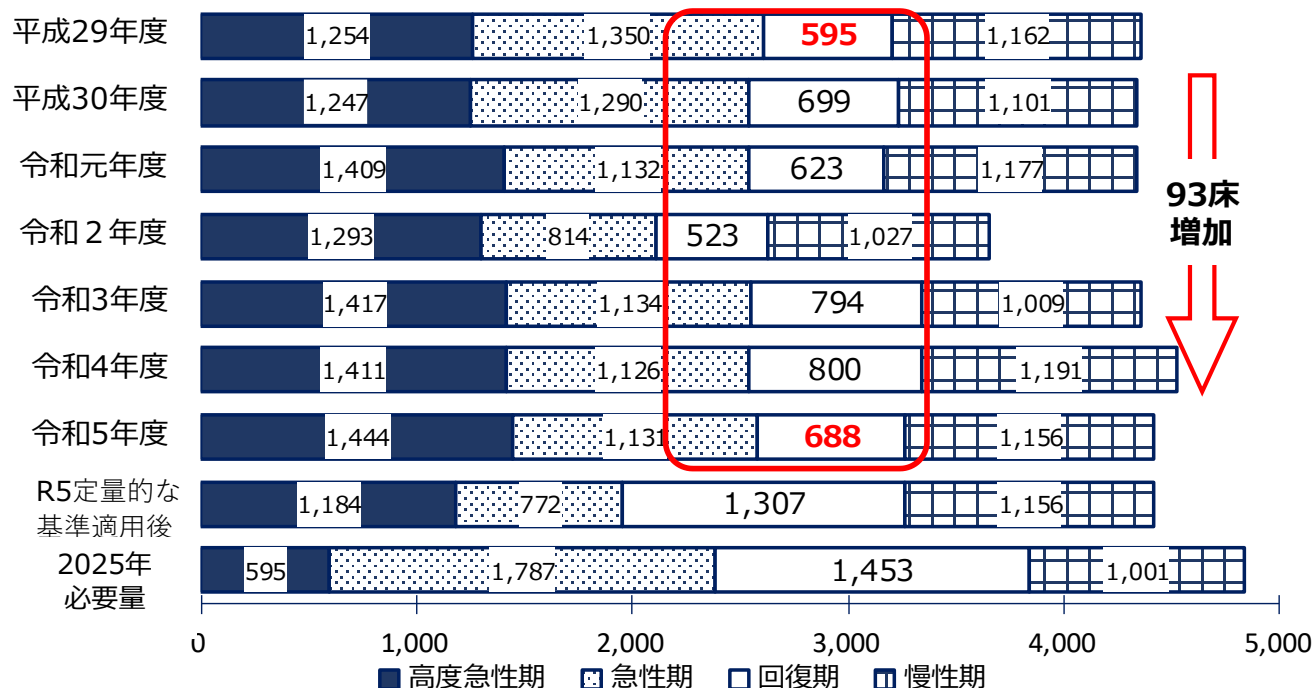


（出所）病床機能報告より作成

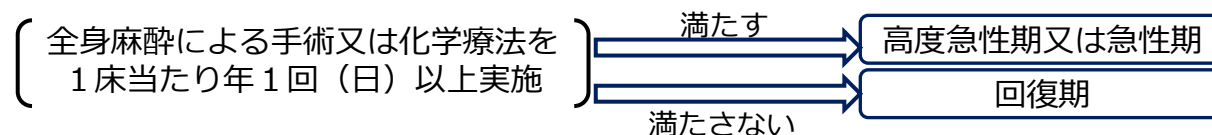
## 【北多摩西部】機能別病床数の状況②

- ・回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 93床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



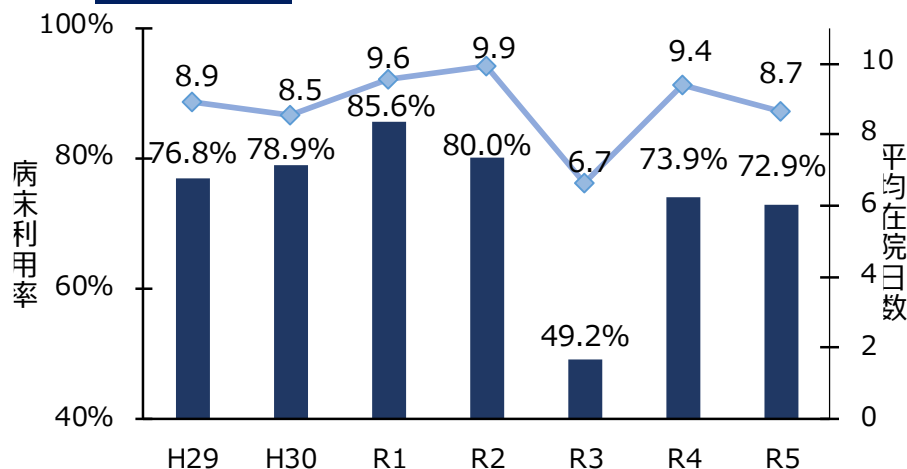
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



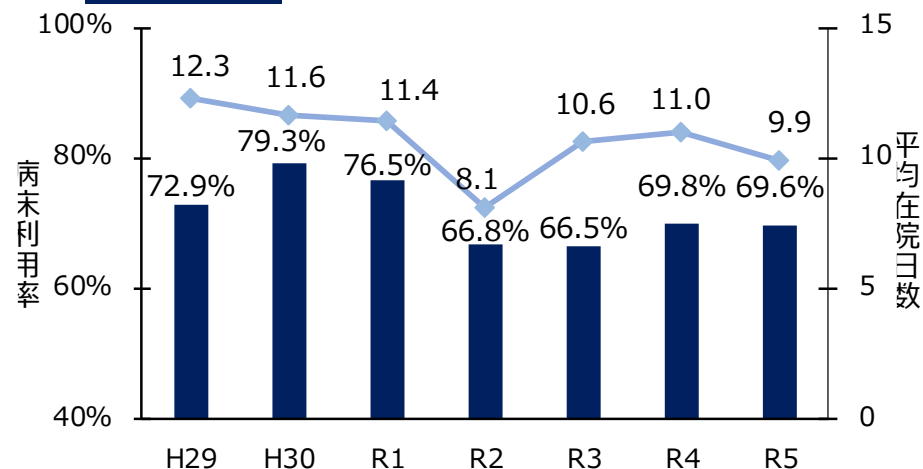
（出所）病床機能報告より作成

# 【北多摩西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

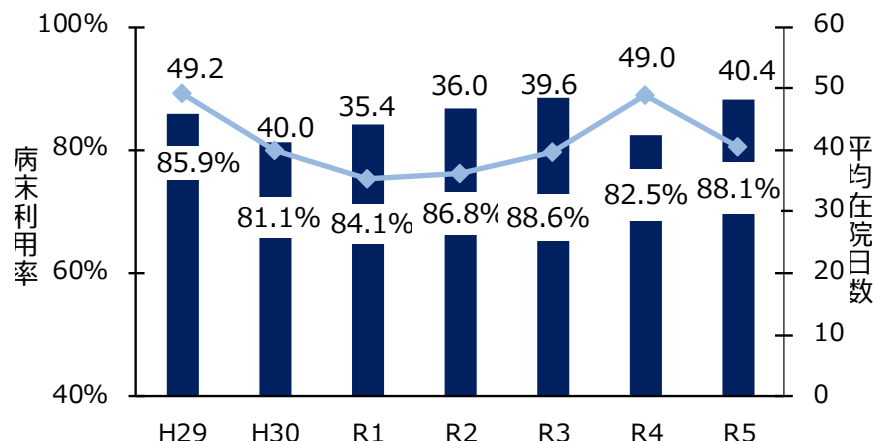
## 高度急性期



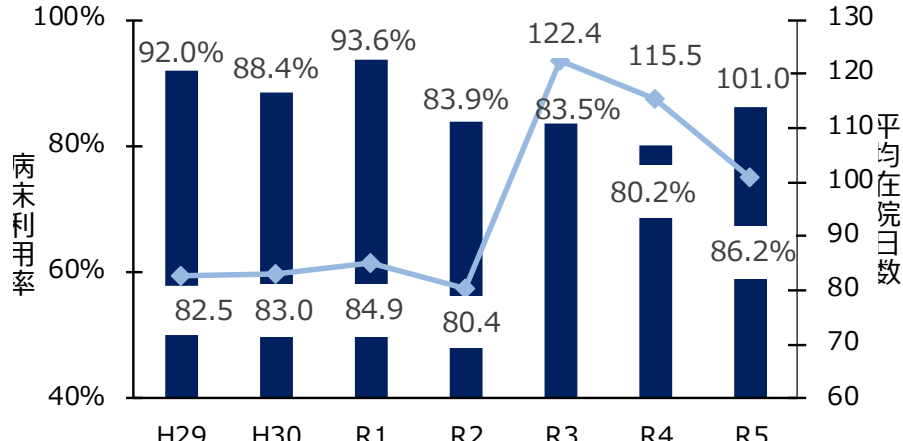
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数（右軸）

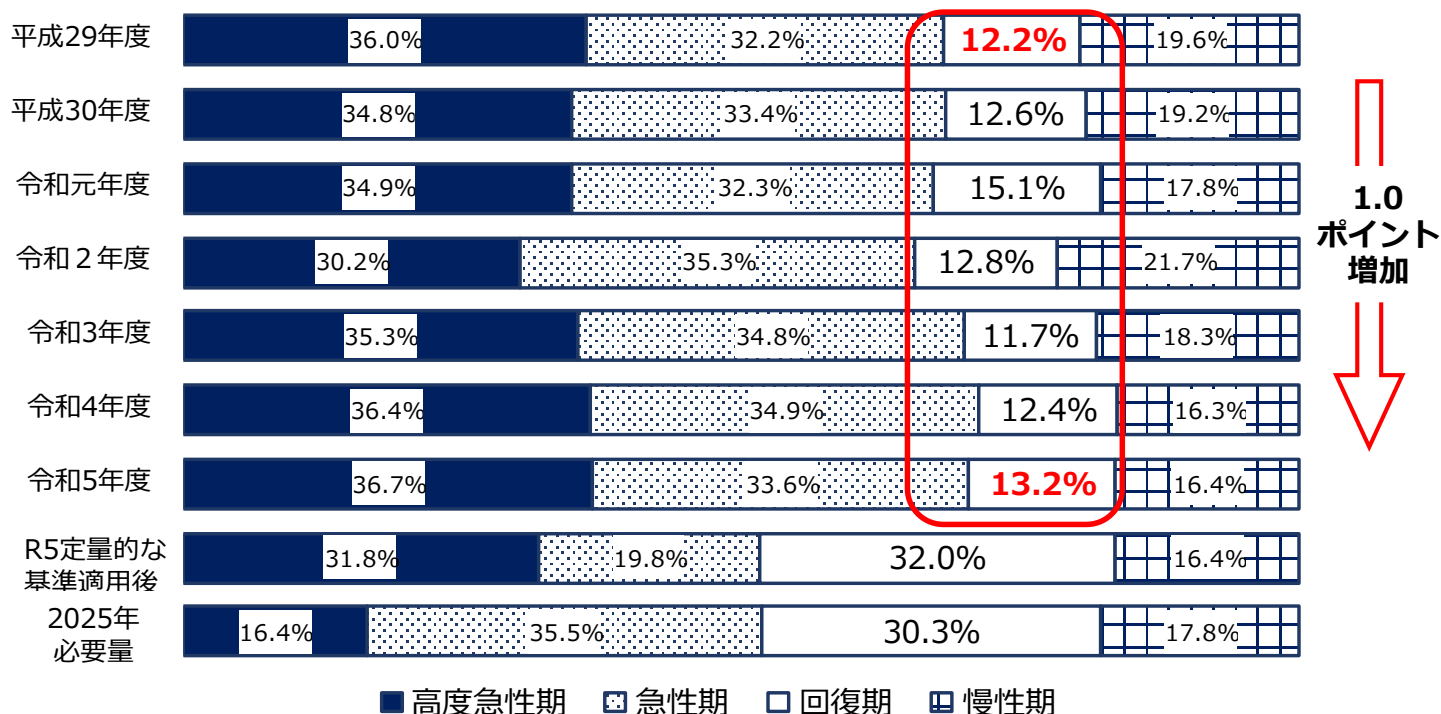
（出所）病床機能報告より作成



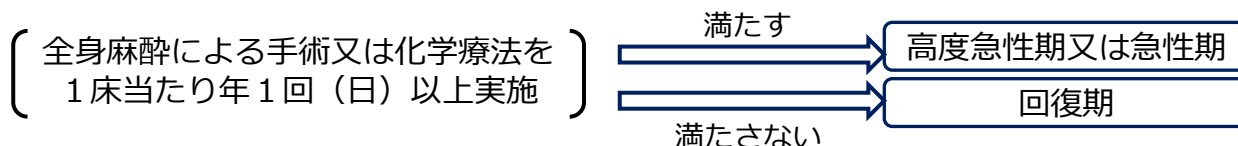
# 【北多摩南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度まで、ほぼ横ばい～微増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

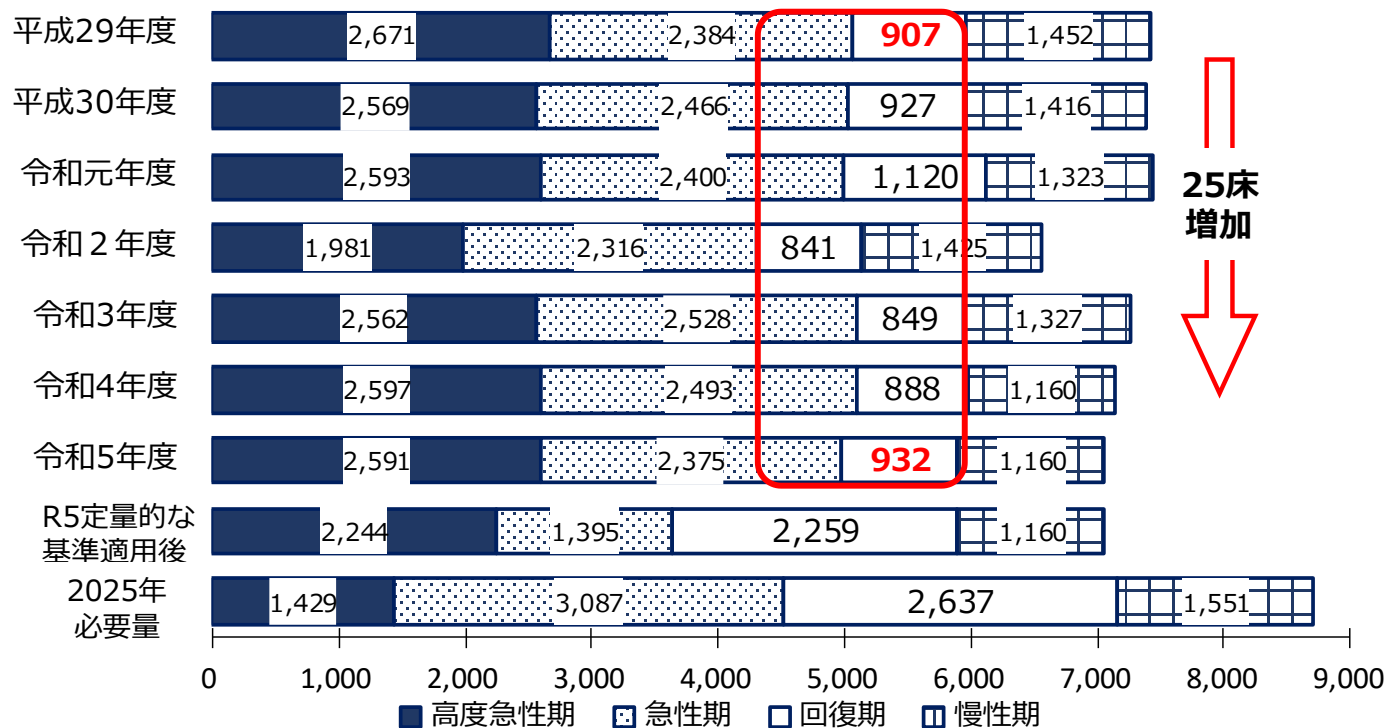


（出所）病床機能報告より作成

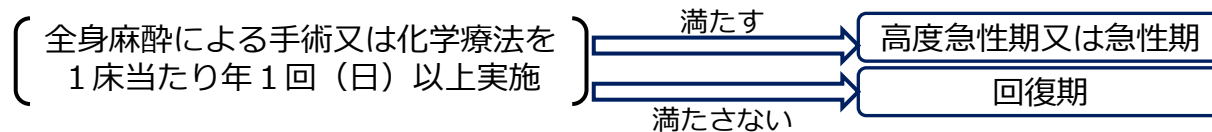
## 【北多摩南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度まで、横ばい～微減で推移

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



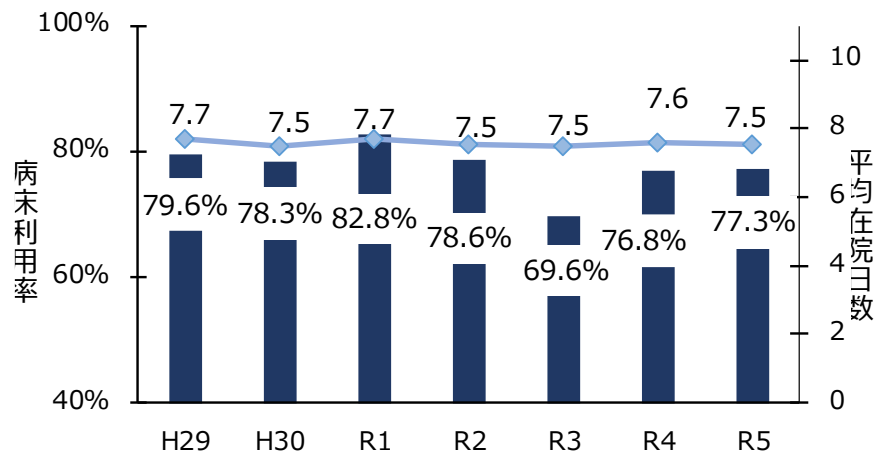
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



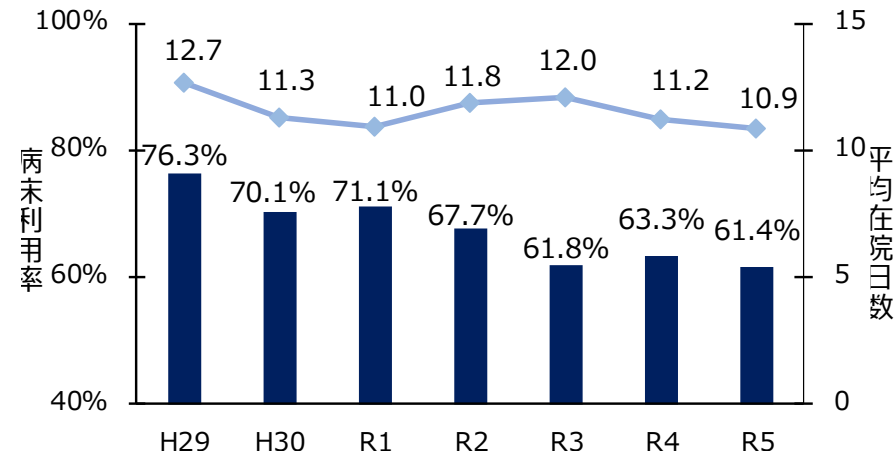
（出所）病床機能報告より作成

# 【北多摩南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

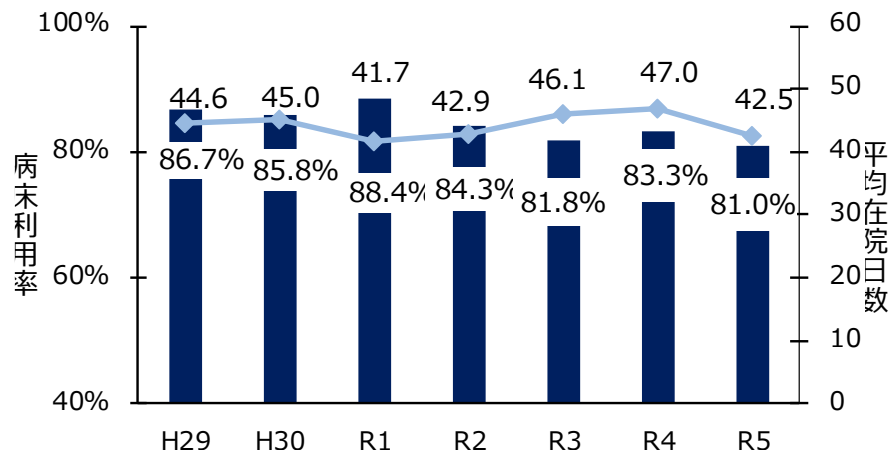
## 高度急性期



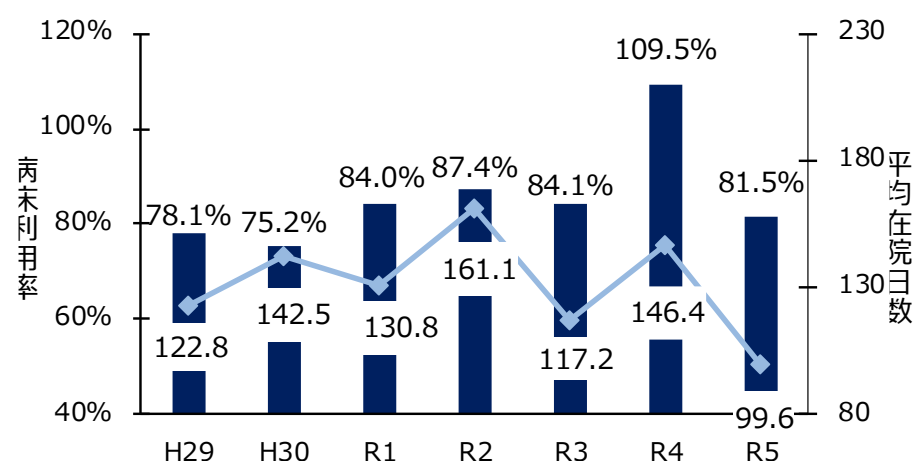
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

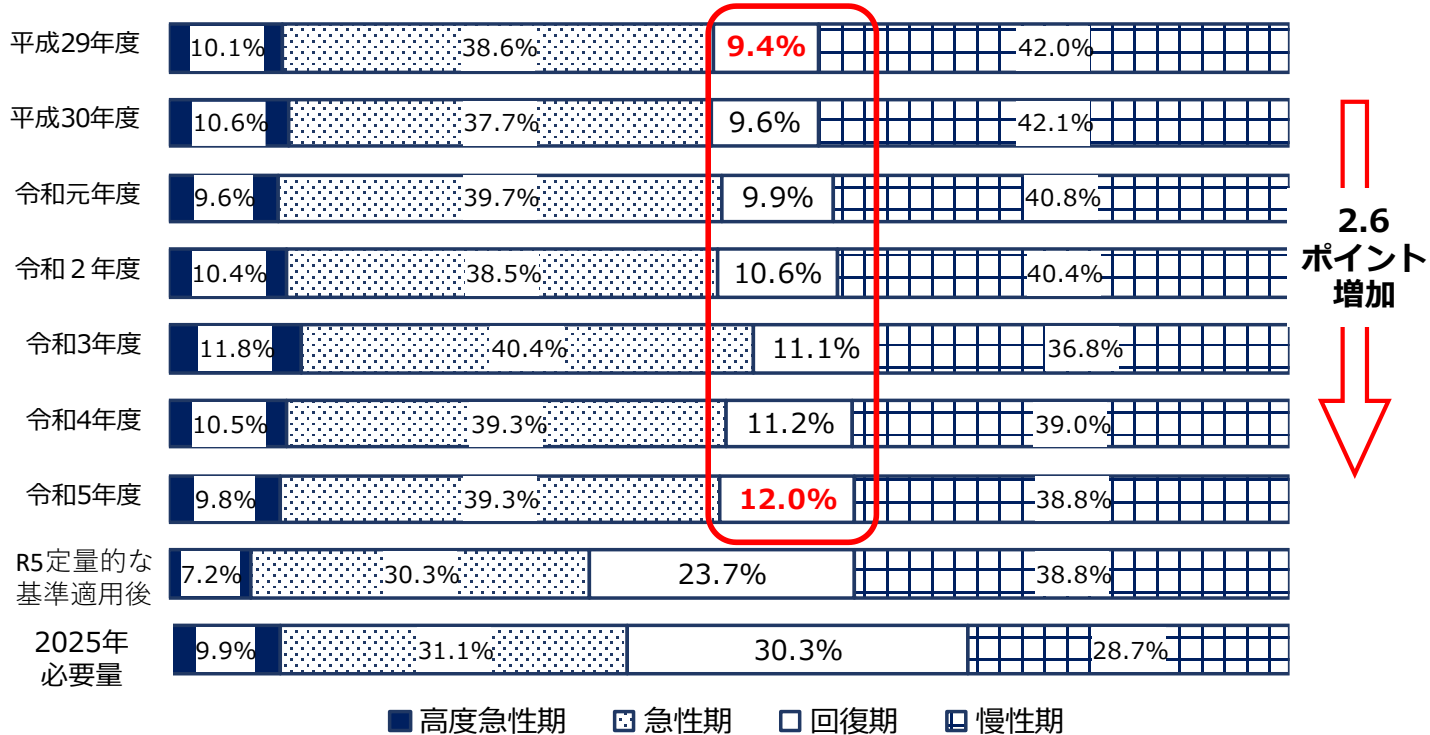
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

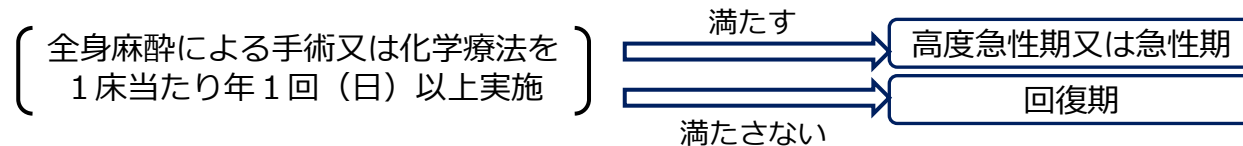
# 【北多摩北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 2.6 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

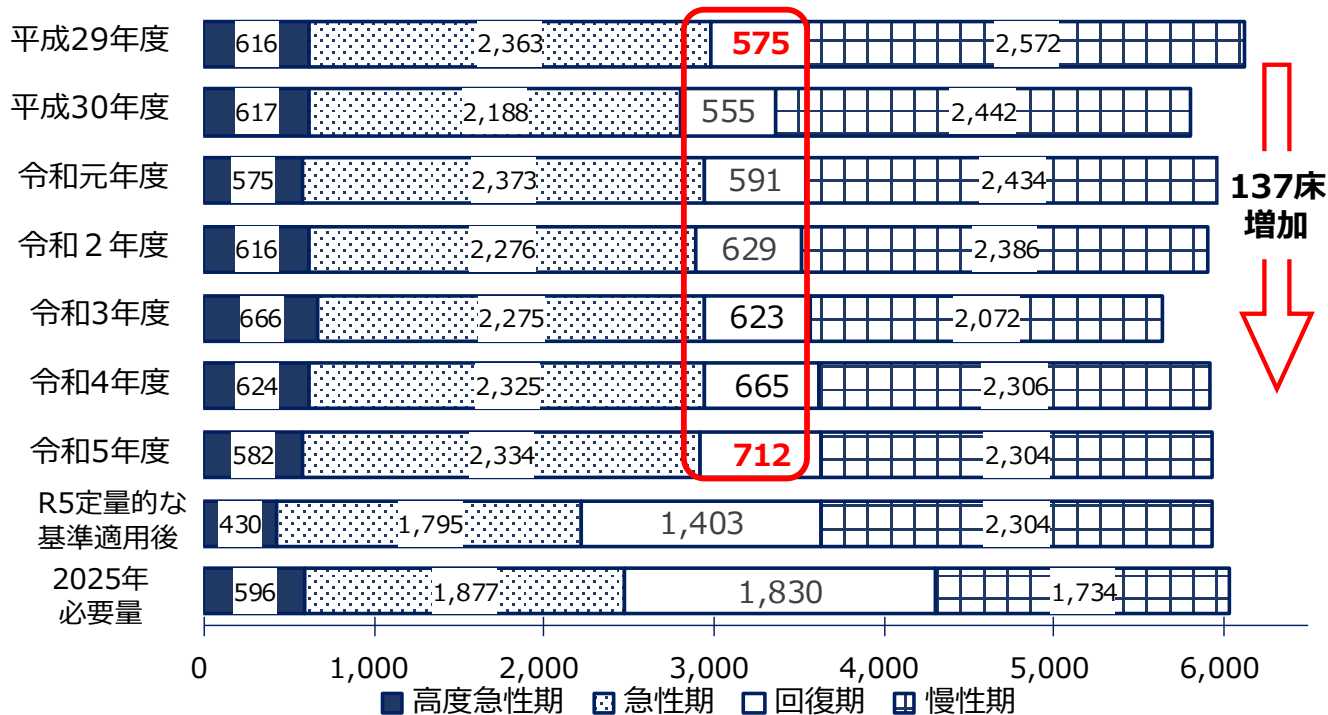


（出所）病床機能報告より作成

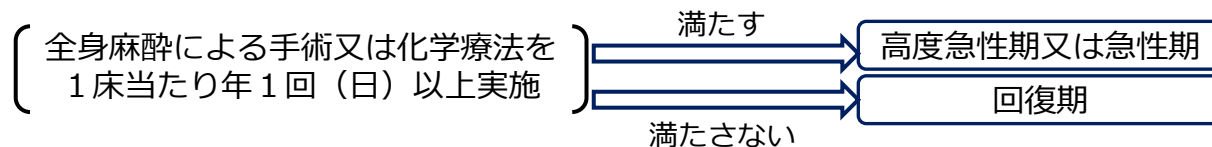
## 【北多摩北部】機能別病床数の状況②

- ・回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 137床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



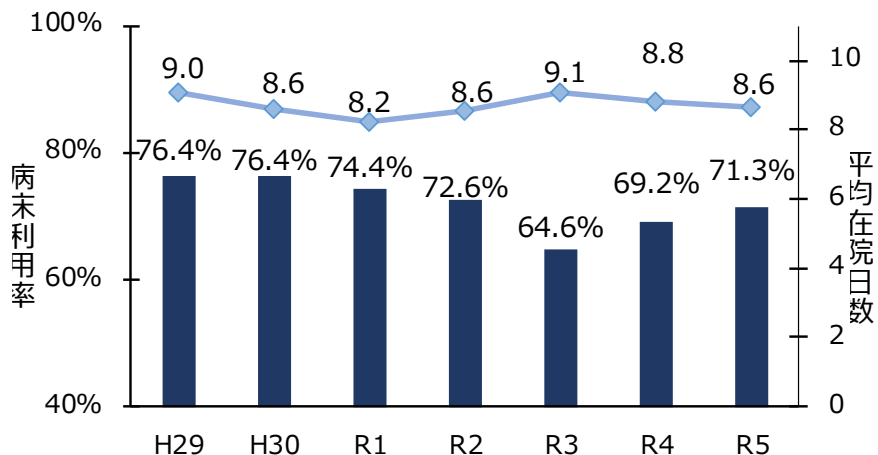
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



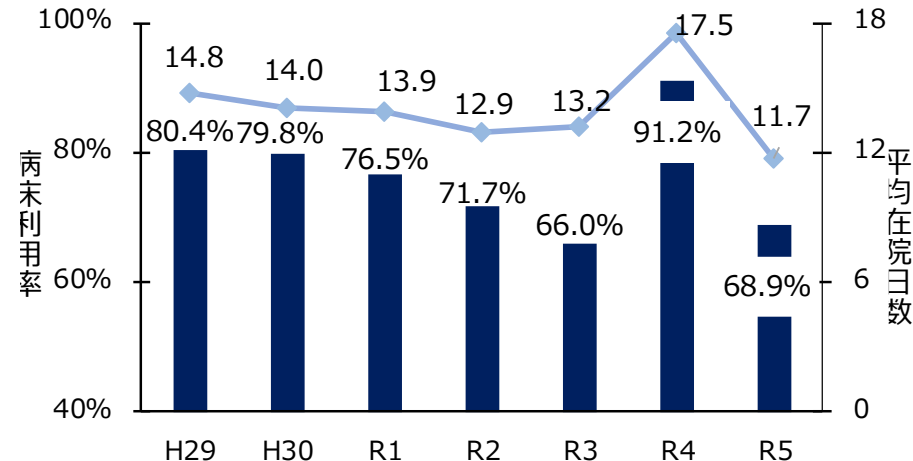
（出所）病床機能報告より作成

# 【北多摩北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

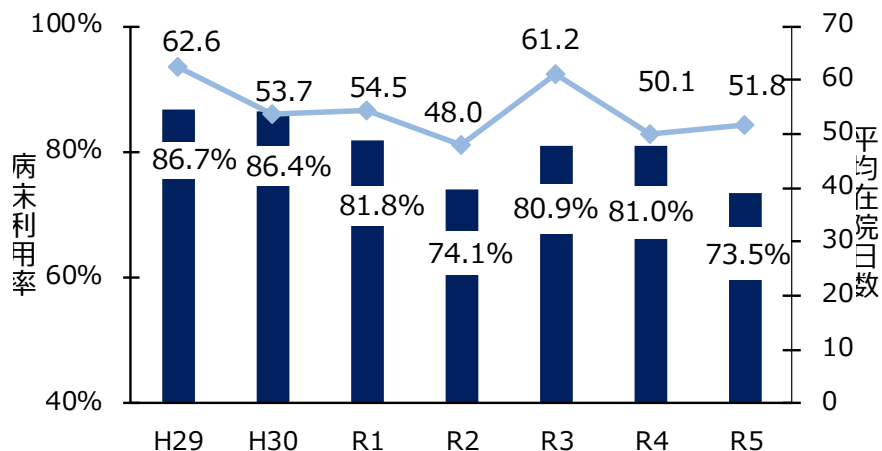
## 高度急性期



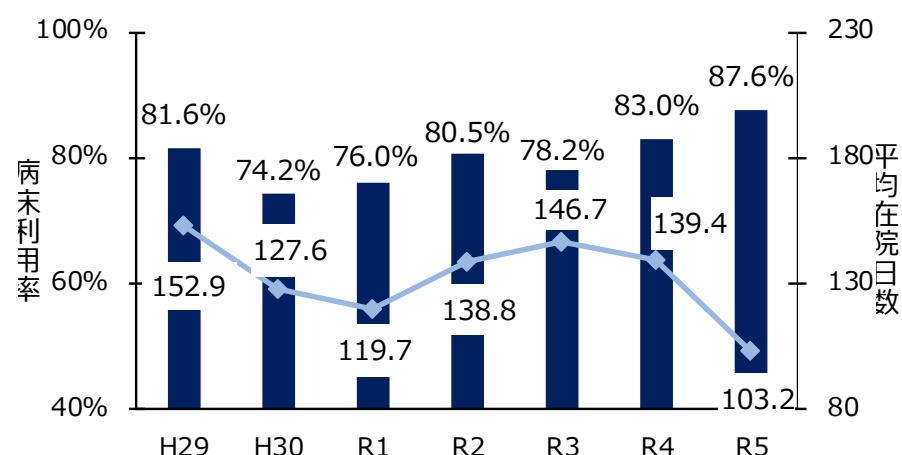
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成